

(様式第10)

関病発第24903 号

令和 6 年 9 月 26 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人関西医科大学
理事長 山下敏夫

関西医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒573-1010 大阪府枚方市新町2丁目5番1号
氏名	学校法人関西医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

関西医科大学附属病院

3 所在の場所

〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目3番1号
電話(072)804-0101

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有		
内科と組み合わせた診療科名等			
<input checked="" type="radio"/> 1呼吸器内科	<input type="radio"/> 2消化器内科	<input type="radio"/> 3循環器内科	<input type="radio"/> 4腎臓内科
<input type="radio"/> 5神経内科	<input type="radio"/> 6血液内科	<input type="radio"/> 7内分泌内科	<input type="radio"/> 8代謝内科
<input checked="" type="radio"/> 9感染症内科	<input type="radio"/> 10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/> 11リウマチ科	
診療実績			
・アレルギー疾患内科またはアレルギー科の内容は呼吸器内科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科で診療している。 ・神経内科の診療内容は脳神経内科にて提供している。			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
○	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
内分泌外科の内容は、耳鼻咽喉科、泌尿器科で診療している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	血液・腫瘍内科	2	肝臓内科	3	心療内科	4	糖尿病内科	5	肝臓外科
6	胆のう外科	7	頭頸部外科	8	形成外科	9	リハビリテーション科	10	病理診断科
11	臨床検査科	12	脳神経内科	13	脳血管外科	14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
				797	797

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	416	194	452.2
歯科医師	6	8	7.4
薬剤師	60	4	61.2
保健師			
助産師	61		
看護師	899	71	951.6
准看護師			
歯科衛生士	11		
管理栄養士	13	4	14.3

職種	員数
看護補助者	183
理学療法士	37
作業療法士	10
視能訓練士	10
義肢装具士	
臨床工学士	27
栄養士	
歯科技工士	
診療放射線技師	54

職種	員数	
診療エックス線技師		
臨床検査	臨床検査技師	78
	衛生検査技師	
	その他	
あん摩マッサージ指圧師		
医療社会事業従事者	13	
その他の技術員	51	
事務職員	195	
その他の職員		

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	46	眼科専門医	6
外科専門医	25	耳鼻咽喉科専門医	9
精神科専門医	10	放射線科専門医	12
小児科専門医	7	脳神経外科専門医	5
皮膚科専門医	1	整形外科専門医	9
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	8
産婦人科専門医	7	救急科専門医	6
		合計	162

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (松田 公志) 任命年月日 令和 3 年 4 月 1 日

2006年1月1日～2010年3月31日 安全対策委員(セーフティマネージャー)
 2020年4月1日～2021年3月31日 医療安全管理責任者
 2021年4月1日～現在 医療安全管理センター 兼務

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	682.1 人	1.6 人	683.7 人
1日当たり平均外来患者数	2114.2 人	58.4 人	2172.6 人
1日当たり平均調剤数		1083	剤
必要医師数		140	人
必要歯科医師数		4	人
必要薬剤師数		37	人
必要(准)看護師数		415	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	m ²		53 床		心電計	
			人工呼吸装置		心細動除去装置	
			その他の救急蘇生装置:		ペースメーカー	
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	151.5	m ²	病床数	14 床
	[移動式の場合]	台数	0	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	53	m ²		
	[共用室の場合]	共用する室名	病棟業務課			
化学検査室	405.3 m ²		(主な設備)	AU-5800、Atellica、Alinity、XR-9000、CN-6000		
細菌検査室	112.9 m ²		(主な設備)	BACT/ALERT VIRTUO、MS PRIME、安全キャビネット		
病理検査室	299.9 m ²		(主な設備)	カセット印字機、スライド印字機、パラフィン浸透機、免疫染色機		
病理解剖室	118.9 m ²		(主な設備)	パラフィン浸透機、包埋センター、ドラフトチャンバー		
研究室	8193.8 m ²		(主な設備)	顕微鏡、冷却遠心機、CO2インキュベーター		
講義室	363.4 m ²		室数	2 室	収容定員	210 人
図書室	1135.2 m ²		室数	1 室	蔵書数	52,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	83.0 %	逆紹介率	75.5 %
算出根拠	A: 紹介患者の数	22,319 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	21,560 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,389 人	
	D: 初診の患者の数	28,575 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
藤本 良知	枚方市医師会名誉会長	○	地域医療に関する学識 経験者	無	1
森田 眞照	市立ひらかた病院 顧問		病院機能に関する学識 経験者	無	1
永井 仁美	茨木保健所 所長		公衆衛生に関する学識 経験者	無	1
吉野 敬昌	枚方信用金庫 理事長		医療を受ける側の代表 者	無	2
谷川 昇	関西医科大学医学部 放射線科学講座教授		医療に関する学識経験 者	無	1
蔦 幸治	関西医科大学 臨床病理学講座教授		臨床病理に関する学識 経験者	無	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
本学ホームページにて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	9	56	ベーチェット病	82
2	筋萎縮性側索硬化症	29	57	特発性拡張型心筋症	70
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	59
4	原発性側索硬化症		59	拘束型心筋症	
5	進行性核上性麻痺	29	60	再生不良性貧血	59
6	パーキンソン病	89	61	自己免疫性溶血性貧血	
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	
8	ハンテントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	209
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	
10	シャルコー・マリー・トゥース病		65	原発性免疫不全症候群	12
11	重症筋無力症	154	66	IgA 腎症	
12	先天性筋無力症候群		67	多発性嚢胞腎	
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	47	68	黄色靱帯骨化症	55
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	37	69	後縦靱帯骨化症	160
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	2
16	クロウ・深瀬症候群		71	特発性大腿骨頭壊死症	61
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	21
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	63	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	7	74	下垂体性PRL分泌亢進症	22
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	8
21	ミトコンドリア病	4	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	11
22	もやもや病	62	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7
23	プリオン病		78	下垂体前葉機能低下症	53
24	亜急性硬化性全脳炎		79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
25	進行性多巣性白質脳症		80	甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症		81	先天性副腎皮質酵素欠損症	
27	特発性基底核石灰化症		82	先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	1	83	アジソン病	
29	ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	156
30	遠位型ミオパチー		85	特発性間質性肺炎	40
31	ベスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	2
32	自己食空腔性ミオパチー		87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	
33	シュワルツ・ヤンペル症候群		88	慢性血栓性肺高血圧症	8
34	神経線維腫症	50	89	リンパ管筋腫症	4
35	天疱瘡	39	90	網膜色素変性症	84
36	表皮水疱症		91	バッド・キアリ症候群	
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	92	特発性門脈圧亢進症	
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性胆管炎	
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	
40	高安動脈炎	21	95	自己免疫性肝炎	1
41	巨細胞性動脈炎		96	クローン病	228
42	結節性多発動脈炎	14	97	潰瘍性大腸炎	536
43	顕微鏡的多発血管炎	52	98	好酸球性消化管疾患	
44	多発血管炎性肉芽腫症	15	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	15	101	腸管神経節細胞減少症	
47	パージャール病	7	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群		103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	294	104	コステロ症候群	
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	150	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	209	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	48	107	若年性特発性関節炎	
53	シェーグレン症候群		108	TNF受容体関連周期性症候群	
54	成人スチル病		109	非典型性溶血性尿毒症症候群	
55	再発性多発軟骨炎		110	ブラウ症候群	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー		161	家族性良性慢性天疱瘡	
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	
113	筋ジストロフィー		163	特発性後天性全身性無汗症	
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		164	眼皮皮膚白皮症	
115	遺伝性周期性四肢麻痺		165	肥厚性皮膚骨膜炎	
116	アトピー性脊髄炎		166	弾性線維性仮性黄色腫	
117	脊髄空洞症		167	マルファン症候群	
118	脊髄髄膜瘤		168	エーラス・ダンロス症候群	
119	アイザックス症候群		169	メンケス病	
120	遺伝性ジストニア		170	オクシピタル・ホーン症候群	
121	神経フェリチン症		171	ウィルソン病	
122	脳表ヘモジデリン沈着症		172	低ホスファターゼ症	
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳		173	VATER症候群	
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動		174	那須・ハコラ病	
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性		175	ウィーバー症候群	
126	白質脳症		176	コフィン・ローリー症候群	
127	ペリー症候群		177	ジュベール症候群関連疾患	
128	前頭側頭葉変性症		178	モワット・ウィルソン症候群	
129	ピックースタッフ脳幹脳炎		179	ウィリアムズ症候群	
130	痙攣重積型(二相性)急性脳症		180	ATR-X症候群	
131	先天性無痛無汗症		181	クルーゾン症候群	
132	アレキサンダー病		182	アペール症候群	
133	先天性核上性球麻痺		183	ファイファー症候群	
134	メビウス症候群		184	アントレー・ビクスラー症候群	
135	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		185	コフィン・シリス症候群	
136	アイカルディ症候群		186	ロスムンド・トムソン症候群	
137	片側巨脳症		187	歌舞伎症候群	
138	限局性皮質異形成		188	多脾症候群	
139	神経細胞移動異常症		189	無脾症候群	
140	先天性大脳白質形成不全症		190	鰓耳腎症候群	
141	ドラベ症候群		191	ウェルナー症候群	
142	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		192	コケイン症候群	
143	ミオクロニー欠神てんかん		193	ブラダー・ウィリ症候群	4
144	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		194	ソトス症候群	
145	レノックス・ガストー症候群		195	ヌーナン症候群	
146	ウエスト症候群		196	ヤング・シンプソン症候群	
147	大田原症候群		197	1p36欠失症候群	
148	早期ミオクロニー脳症		198	4p欠失症候群	
149	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		199	5p欠失症候群	
150	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
151	環状20番染色体症候群		201	アンジェルマン症候群	
152	ラスムッセン脳炎		202	スミス・マギニス症候群	
153	PCDH19関連症候群		203	22q11.2欠失症候群	1
154	難治頻回部分発作重積型急性脳炎		204	エマヌエル症候群	
155	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症		205	脆弱X症候群関連疾患	
156	ランドウ・クレフナー症候群		206	脆弱X症候群	
157	レット症候群		207	総動脈幹遺残症	
158	スタージ・ウェーバー症候群		208	修正大血管転位症	
159	結節性硬化症		209	完全大血管転位症	
160	色素性乾皮症		210	単心室症	
160	先天性魚鱗癬				

(様式第2)

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212	三尖弁閉鎖症	260	シトステロール血症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	261	タンジール病	1
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	262	原発性高カイロミクロン血症	
215	ファロー四徴症	263	脳腫黄色腫症	
216	両大血管右室起始症	264	無βリポタンパク血症	
217	エプスタイン病	265	脂肪萎縮症	
218	アルポート症候群	266	家族性地中海熱	11
219	ギャロウェイ・モフト症候群	267	高IgD症候群	
220	急速進行性糸球体腎炎	268	中條・西村症候群	
221	抗糸球体基底膜腎炎	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候	
222	一次性ネフローゼ症候群	270	慢性再発性多発性骨髄炎	
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	271	強直性脊椎炎	
224	紫斑病性腎炎	272	進行性骨化性線維異形成症	
225	先天性腎性尿崩症	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	274	骨形成不全症	
227	オスラー病	275	タナトフォリック骨異形成症	
228	閉塞性細気管支炎	276	軟骨無形成症	
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	
230	肺胞低換気症候群	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	
232	カーニー複合	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
233	ウォルフラム症候群	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除	282	先天性赤血球形成異常性貧血	
235	副甲状腺機能低下症	283	後天性赤芽球癆	
236	偽性副甲状腺機能低下症	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	285	ファンコニ貧血	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	286	遺伝性鉄芽球性貧血	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	287	エプスタイン症候群	
240	フェニルケトン尿症	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	
241	高チロシン血症1型	289	クロンカイト・カナダ症候群	
242	高チロシン血症2型	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
243	高チロシン血症3型	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	
244	メープルシロップ尿症	292	総排泄腔外反症	
245	プロピオン酸血症	293	総排泄腔遺残	
246	メチルマロン酸血症	294	先天性横隔膜ヘルニア	3
247	イソ吉草酸血症	295	乳幼児肝巨大血管腫	
248	グルコーストランスポーター1欠損症	296	胆道閉鎖症	
249	グルタル酸血症1型	297	アラジール症候群	
250	グルタル酸血症2型	298	遺伝性膀胱炎	
251	尿素サイクル異常症	299	嚢胞性線維症	
252	リジン尿性蛋白不耐症	300	IgG4関連疾患	
253	先天性葉酸吸収不全	301	黄斑ジストロフィー	
254	ポルフィリン症	302	レーベル遺伝性視神経症	2
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	303	アッシャー症候群	
256	筋型糖原病	304	若年発症型両側性感音難聴	
257	肝型糖原病	305	遅発性内リンパ水腫	
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	306	好酸球性副鼻腔炎	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病		321	非ケトーシス型高グリシン血症	
308	進行性白質脳症		322	β -ケトチオラーゼ欠損症	
309	進行性ミオクローヌステんかん		323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
310	先天異常症候群		324	メチルグルタコン酸尿症	
311	先天性三尖弁狭窄症		325	遺伝性自己炎症疾患	
312	先天性僧帽弁狭窄症		326	大理石骨病	
313	先天性肺静脈狭窄症		327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	
314	左肺動脈右肺動脈起始症		328	前眼部形成異常	
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1 B関連腎症		329	無虹彩症	
316	カルニチン回路異常症		330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	
317	三頭酵素欠損症		331	特発性多中心性キャッスルマン病	
318	シトリン欠損症		332	膠様滴状角膜ジストロフィー	
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症		333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI)欠損症		334	脳クレアチン欠乏症候群	
			335	ネフロン癆	
			336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	
			337	ホモシスチン尿症	
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	65
合計患者数(人)	3,450

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
医療DX推進体制整備加算	後発医薬品使用体制加算1
地域歯科診療支援病院歯科初診料	病棟薬剤業務実施加算1
歯科外来診療環境体制加算2	病棟薬剤業務実施加算2
特定機能病院入院基本料	データ提出加算2
入院栄養管理体制加算(注11)	入院時支援加算2
救急医療管理加算	入退院支援加算1
超急性期脳卒中加算	入退院支援加算3
診療録管理体制加算1	認知症ケア加算2
医師事務作業補助体制加算1のイ 15対1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
急性期看護補助体制加算1 25対1(看護補助者5割以上)	精神疾患診療体制加算
看護補助体制充実加算①(注4)	排尿自立支援加算
看護職員夜間配置加算1のイ 12対1	地域医療体制確保加算
療養環境加算	救命救急入院料1
重症者等療養環境特別加算	救命救急入院料4
無菌治療室管理加算1・2	算定上限日数に関する基準(注1)
緩和ケア診療加算	精神疾患診断治療初回加算(イを算定する場合に限る。)(注2)
精神科リエゾンチーム加算	早期栄養介入管理加算(注9)
摂食障害入院医療管理加算	特定集中治療室管理料2
栄養サポートチーム加算	算定上限日数に関する基準(注1)
医療安全対策加算1	早期離床リハビリテーション加算(ハイケアユニット入院医療管理料の注3)
感染対策向上加算1	早期離床リハビリテーション加算(救命救急入院料の注8)
指導強化加算(注2)	早期栄養介入管理加算(注9)
患者サポート体制充実加算	総合周産期特定集中治療室管理料1
報告書管理体制加算	総合周産期特定集中治療室管理料2
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	新生児治療回復室入院医療管理料
ハイリスク妊娠管理加算	小児入院医療管理料1
ハイリスク分娩等管理加算	無菌治療管理加算2(注5)
呼吸ケアチーム加算	養育支援体制加算(注7)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
外来栄養食事指導料(注3)	網膜再建術
遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
糖尿病合併症管理料	人工中耳植込術
がん性疼痛緩和指導管理料	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
がん患者指導管理料イ	耳管用補綴材挿入術
がん患者指導管理料ロ	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
がん患者指導管理料ハ	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
がん患者指導管理料ニ	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
外来緩和ケア管理料	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(MRIによるもの)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
糖尿病透析予防指導管理料	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
小児運動器疾患指導管理料	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
婦人科特定疾患治療管理料	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
腎代替療法指導管理料	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
一般不妊治療管理料	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
生殖補助医療管理料1	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
二次性骨折予防継続管理料1	胸腔鏡下弁形成術
二次性骨折予防継続管理料3	経カテーテル弁置換術(経皮的動脈弁置換術)
外来放射線照射診療料	不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの))
外来腫瘍化学療法診療料1	経皮的中隔心筋焼灼術

連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
ニコチン依存症管理料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
相談支援加算(療養・就労両立支援指導料)	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
がん治療連携計画策定料	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
外来排尿自立指導料	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
肝炎インターフェロン治療計画料	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
薬剤管理指導料	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
地域連携診療計画加算	経皮的下肢動脈形成術
医療機器安全管理料1	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
医療機器安全管理料2	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
歯科治療時医療管理料	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
禁煙治療補助システム指導管理加算	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	バルーン閉塞下経静脈的塞栓術
遺伝学的検査	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
染色体検査の注2に規定する施設基準	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
骨髄微小残存病変量測定	体外衝撃波胆石破碎術
BRCA1/2遺伝子検査	腹腔鏡下肝切除術
がんゲノムプロファイリング検査	腹腔鏡下胆道閉鎖症手術
先天性代謝異常症検査	生体部分肝移植術
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	体外衝撃波膵石破碎術
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

検体検査管理加算（Ⅰ）	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
検体検査管理加算（Ⅳ）	内視鏡的小腸ポリープ切除術
国際標準検査管理加算	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
遺伝カウンセリング加算	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胎児心エコー法	同種死体腎移植術
ヘッドアップティルト試験	生体腎移植術
皮下連続式グルコース測定	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）
長期継続頭蓋内脳波検査	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
脳波検査判断料 1	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
神経学的検査	人工尿道括約筋植込・置換術
補聴器適合検査	膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの）
黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図	精巣内精子採取術
ロービジョン検査判断料	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
コンタクトレンズ検査料 1	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
内服・点滴誘発試験	腹腔鏡下仙骨腔固定術
センチネルリンパ節生検（片側）	腹腔鏡下仙骨腔固定手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
CT透視下気管支鏡検査加算	腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
画像診断管理加算 3	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
ポジトロン断層撮影	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
CT撮影及びMRI撮影	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
冠動脈CT撮影加算	胎児胸腔・羊水腔シャント術
血流予備量比コンピューター断層撮影	無心体双胎焼灼術（一連につき）
外傷全身CT加算	胎児輸血術（一連につき）及び臍帯穿刺
心臓MRI撮影加算	体外式膜型人工肺管理料
乳房MRI撮影加算	手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
頭部MRI撮影加算	胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）

全身MRI撮影加算	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	輸血管理料Ⅰ
外来化学療法加算1	輸血適正使用加算
無菌製剤処理料	自己生体組織接着剤作成術
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	同種クリオプレシピテート作製術
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	歯根端切除手術の注3
がん患者リハビリテーション料	レーザー機器加算の施設基準
歯科口腔リハビリテーション料2	麻酔管理料(Ⅰ)
認知療法・認知行動療法1	麻酔管理料(Ⅱ)
処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	放射線治療専任加算
静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	外来放射線治療加算
多血小板血漿処置	高エネルギー放射線治療
硬膜外自家血注入	一回線量増加加算
イオールの局所注入(甲状腺に対するもの)	強度変調放射線治療(ⅠMRT)
イオールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	画像誘導放射線治療加算(ⅠGRT)
人工腎臓1	体外照射呼吸性移動対策加算
導入器加算1	定位放射線治療
導入器加算2及び腎代替療法実績加算	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	画像誘導密封小線源治療加算
導入期加算3	保険医療機関間の連携による病理診断
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	病理診断管理加算
難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	悪性腫瘍病理組織標本加算
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	クラウン・ブリッジ維持管理料
手術用顕微鏡加算	がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規程する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	コーディネート体制充実加算
皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	プログラム医療機器等指導管理料
皮膚移植術(死体)	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
自家脂肪注入	ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算

骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））	胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	緊急穿頭血種除去術
後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
椎間板内酵素注入療法	経頸静脈的肝生検
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	前立腺針生検法（MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの）
頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	腹腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）	腹腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便過活動膀胱）	腹腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
角結膜悪性腫瘍切除手術	腹腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
内皮移植加算	腹腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
羊膜移植術	慢性腎臓病透析予防指導管理料
緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	
緑内障手術（流出路再建術（眼内法））及び緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	
緑内障手術（濾過胞再建術（needle法））	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
脳腫瘍の再発予知と予防薬の開発	浅井 昭雄	脳神経外科学講座	2,860,000	補助 委	文部科学省・日本 学術振興会 科研費
片麻痺歩行再建の治療指針を提供するAIシステムの基盤形成	長谷 公隆	リハビリテーション医学講座	2,470,000	補助 委	文部科学省・日本 学術振興会 科研費
Wnt5a-Yap axisによる心筋細胞メカノトランスダクション制御機構の解明	塩島 一郎	内科学第二講座	6,240,000	補助 委	文部科学省・日本 学術振興会 科研費
位相差顕微鏡ならびに蛍光細胞染色を用いた迅速細胞診の精度向上への試み	蔦 幸治	病理学講座	1,170,000	補助 委	日本学術振興会 科研費
遺伝性乳癌卵巣癌症候群の乳癌発症機構の解明を基軸とした予防的乳房切除の指標確立	矢内 洋次	外科学講座	1,820,000	補助 委	日本学術振興会 科研費
膵癌腹膜播種における新規ターゲットに対する光免疫療法の開発	橋本 大輔	外科学講座	2,340,000	補助 委	日本学術振興会 科研費
組織表現型に基づいた腎癌オルガノイドの樹立と新規治療戦略の創出	吉田 崇	腎泌尿器外科学講座	1,690,000	補助 委	日本学術振興会 科研費
樹状細胞をターゲットにした、JAK阻害の有効性と副次反応の一元的機序解明	伊藤 量基	内科学第一講座	1,560,000	補助 委	日本学術振興会 科研費
緊張病の分子生物学的病態解明を目指した横断/縦断研究	嶽北 佳輝	精神神経科学講座	1,170,000	補助 委	日本学術振興会 科研費
積極的骨転移診療に向けた放射線治療適応スコアの開発	中村 聡明	放射線科学講座	1,820,000	補助 委	日本学術振興会 科研費
蛋白翻訳プロセスから探る腎と神経発達障害の分子機構	塚口 裕康	内科学第二講座	1,820,000	補助 委	日本学術振興会 科研費
セマフォリン4Aから迫る移植後大量エンドキサン療法最適化のための基礎的研究	佐竹 敦志	内科学第一講座	1,690,000	補助 委	日本学術振興会 科研費

光免疫療法による腹膜播種膵癌に対する新規治療法の確立	里井 壯平	外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
敗血症ショックに対するチアゾリン類恐怖臭物質を利用した新たな循環管理法の開発	鎌方 安行	救急医学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科研費
腸管虚血再灌流障害の軽減のための薬剤・チアゾリン類恐怖臭の効果の検討	室谷 卓	救急医学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科研費
脊椎脊髄術中神経生理モニタリングの精度の向上に関する研究	安藤 宗治	整形外科科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
骨髄細胞接種による老人性難聴予防の検討	岩井 大	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
LTBP2遺伝子欠損マウスに外的刺激アドオンによる落屑症候群モデルマウスの作成	盛 秀嗣	眼科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
遺伝性乳癌卵巣癌患者のリスク低減乳房切除術とQOLの関連検討	佐藤 智佳	産科学・婦人科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科研費
外来化学療法中の進行・再発がん患者の包括的がんリハビリテーションプログラムの開発	勝島 詩恵	呼吸器腫瘍内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
麻酔中の脳波による鎮痛モニタリング法の開発	萩平 哲	麻酔科学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科研費
蛋白付着抑制コートはバイオフィルム形成を阻止しカテーテルへの細菌付着を妨げるか？	狩谷 秀治	放射線科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
がん患者の不眠障害に対する完全在宅型心拍変動バイオフィードバックシステムの開発	蓮尾 英明	心療内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
食後代謝異常が造血幹細胞老化を誘導する際のヒストン脱メチル化酵素の役割	岩崎 真佳	内科学第二講座	780,000	補委	日本学術振興会 科研費
深層学習による冠動脈粥腫自動診断システムの開発とその臨床応用に関する研究	藤井 健一	内科学第二講座	260,000	補委	日本学術振興会 科研費
肝細胞癌に対するレンバチニブ内包スマートメッシュを用いた新規治療デバイスの開発	松井 康輔	外科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費

膵癌細胞におけるadipophilinの発現とグルタミン代謝メカニズムの解明	山木 壮	外科学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科研費
脳死ラットにおける新規心不全治療薬による心筋保護効果の検討	上林 卓彦	麻酔科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
妊娠高血圧と中枢神経性調節:機能的磁気共鳴イメージングを用いた脳機能的結合性解析	中畑 克俊	麻酔科学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科研費
病態解明と創薬を目標とした妊娠高血圧症候群患者の血小板中microRNA解析	金沢 路子	麻酔科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費
プレジジョン・メディシンに向けた悪性脳腫瘍の治療パッケージの創製	埜中 正博	脳神経外科学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科研費
遠隔転移の予防に向けた新規免疫調節因子の発現メカニズムの解明	岩田 亮一	脳神経外科学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科研費
次世代シーケンサーによる椎間板・椎体および脊椎インプラントに存在する細菌叢の探究	足立 崇	整形外科科学講座	130,000	補委	日本学術振興会 科研費
乳幼児の反復性尿路感染症における腸内細菌層は正による新規予防法の確立	木全 貴久	小児科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
Augmented Realityを利用した、追体験型手術教育法の開発と評価	木下 秀文	腎泌尿器外科学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科研費
ミトコンドリア代謝を指標とした、新規ヒト精子品質評価技術の確立と品質維持への試み	谷口 久哲	腎泌尿器外科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科研費
内分泌・低酸素環境における子宮内膜分化機構の解明	岡田 英孝	産科学・婦人科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費
子宮内膜免疫寛容の転写制御機構を解明する	村田 紘未	産科学・婦人科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費
胸腺移植を用いた細胞性免疫機能改変による老人性難聴予防とヒトへの応用	杉田 侑己	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
血管リモデリングマウスを用いた血管スパズムモデルの開発と新規スパズム抑制薬の検討	松岡 祐貴	形成外科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費

COVID-19における急激な病態悪化メカニズムの解明および予防ターゲットの提示	伊藤 明日香	麻酔科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
アルツハイマー病発症リスクを層別化する中年期脳微細血管障害スコアモデルの構築	薬師寺 祐介	神経内科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
癒着制御剤を内包したスマートシートによる術後癒着予防効果の検討	小坂 久	外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
好酸球性エクソソーム由来miRNAから難治性好酸球性気道炎症の病態を探る	小林 良樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
無床精神科における成人発症Ⅱ型シトルリン血症の実態調査研究	許 全利	精神神経科学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科研費
リンパ還流障害の中枢に画像ガイド下でリンパ管-静脈バイパスを作成する動物実験	丸山 拓士	放射線科学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科研費
PMEAコーティングの生体内長期抗菌効果の証明	小野 泰之	放射線科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
転写因子を標的とした脊髄髄膜瘤の予防法の開発	磯崎 春菜	脳神経外科学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科研費
腸内細菌叢の乱れに着目した小児微小変化型ネフローゼ症候群の病因解明と治療法の開発	辻 章志	小児科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
活性化血小板をターゲットとした炎症性腸疾患バイオマーカー同定と新規治療法の開発	長沼 誠	内科学第三講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科研費
コラーゲン特異的分子シャペロンHSP47を用いたクローン病腸管狭窄治療法の開発	本澤 有介	内科学第三講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
日本人のバレット食道患者の癌化リスクに係わる分子異常と要因	田原 智満	内科学第三講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
副腎皮質オルガノイドを用いた自家移植法の開発	元木 佑典	腎泌尿器外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
抗癌剤内包型フタロシアンin修飾リポソームを用いた胆嚢癌に対する新規治療法開発	海堀 昌樹	外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科研費

脳死ドナーの臓器保護戦略 医療ガスをを用いての検討	岩崎 光生	麻酔科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
重症敗血症病態の白血球減少に関与するmicroRNAと標的遺伝子、蛋白質の同定	竹下 淳	麻酔科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
ショック時に発生する腸管循環異常の病態解明とその制御方法に関わる研究	池側 均	救急医学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
播種性血管内凝固症候群の血小板減少に関与するmicroRNAと標的遺伝子の同定	影山 京子	麻酔科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
がん幹細胞を標的とした標準免疫療法の開発	李 一	脳神経外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
二分脊椎症と診断された患者およびその家族を対象とした原因遺伝子の探索	武田 純一	脳神経外科学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科研費
がん幹細胞の遊走を制御するイオンチャンネルの分子基盤	内藤 信晶	脳神経外科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費
好酸球性嗅覚障害の機序解明とEDNをターゲットにした新しい治療戦略の構築	神田 晃	臨床検査医学センター	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
抗VEGF薬治療時の抗菌薬点眼反復投与による結膜嚢常在細菌叢のdysbiosis	佐々木 香る	眼科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
網膜静脈症モデル動物における高血圧の影響について	高橋 寛二	眼科学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科研費
ヒト脂肪幹細胞の陰圧負荷培養を応用した創傷治癒・血管新生効果の解明と応用	覚道 奈津子	形成外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
抜歯後MRONJ発症機序の解明および予防策の確立	兒島 由佳	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
日本循環器学会データ出力標準フォーマットを用いた心臓核医学検査情報の管理	竹花 一哉	内科学第二講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
CT透視ガイド下穿刺を姿勢制御技術を搭載したデバイスで補助する研究	中谷 幸	放射線科学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科研費

神経栄養因子NRG1を標的とした脳アミロイドアンギオパチーの病態解明と治療薬の探索	村上 綾	神経内科学講座	3,250,000	補委	日本学術振興会 科研費
Dual energy CTに基づくエネルギー特異的Radiomics解析:頭頸部癌予後予測モデル開発	小池 優平	放射線科学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科研費
機能性大麦を用いた腸内細菌叢の是正が小児食物アレルギー患者の治療効果に及ぼす影響	赤川 翔平	小児科学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科研費
SGLT2阻害剤の免疫細胞への影響と心不全予後を改善するメカニズムの解明	堀谷 啓太	内科学第二講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科研費
ある脱ユビキチン化酵素が標的とする転写因子の探索を通じた赤血球造血機構の解明	大町 太一	小児科学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科研費
浸潤突起に着目した大腸直腸癌の予後不良因子“粘液腫状間質”形成メカニズムの解明	小林 壽範	外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
開放骨折症例での迅速感染症診断を可能にする超小型シークエンスシステムの確立	尾上 敦規	救急医学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科研費
尿中細菌叢を標的としたクランベリーによる過活動膀胱の新たな治療戦略開発	赤川 友布子	小児科学講座	2,470,000	補委	日本学術振興会 科研費
ガレクチン1とS100A8の時空的発現不均衡からみた好酸球性副鼻腔炎への新規創薬	尹 泰貴	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科研費
看護師が行う超音波画像診断装置を用いたGastric outlet obstruction評価方法の開発	佐久間 博子	心療内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
淡明細胞型腎細胞癌の個別化医療を目的としたバイオマーカーの同定	大杉 治之	腎泌尿器外科学講座	130,000	補委	日本学術振興会 科研費
大量ナノバブル存在下で増強したキャビテーションによる経皮吸収促進の評価	上野 裕	放射線科学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科研費
悪性腫瘍に対する新たな放射線塞栓療法の開発	河野 由美子	放射線科学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科研費
前立腺癌担癌マウスへのMST1 inhibitor投与による腫瘍抑制効果の検討	安田 鐘樹	腎泌尿器外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費

1型自己免疫性膵炎における細胞外小胞由来miR-21-5pの病態への関与	中丸 洸	内科学第三講座	650,000	補委	日本学術振興会 科研費
膵管内乳頭粘液性腫瘍に対する制御性T細胞を中心とした新規バイオマーカーの探索	伊藤 嵩志	内科学第三講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費
静脈麻酔薬デクスメトミジンによるインスリン分泌抑制機序の解明	楠 宗矩	麻酔科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
I-131抵抗性の克服による甲状腺癌に対する新規分子標的薬併用放射線療法の開発	鈴木 健介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
口腔腫瘍性病変表層に特異的に発現する新規分化関連タンパク質の発現と作用機序の解析	野田 百合	病理学講座	130,000	補委	日本学術振興会 科研費
減量中のマイオカイン動態による骨格筋機能の制御と身体活動の目標設定	黒瀬 聖司	健康科学教室	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
Impact of lower airway microbiota in advanced non-small cell lung cancer patients treated PD-1/PD-L1 blockade: A Biomarker Study	竹安 優貴	呼吸器腫瘍内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
同所性同種膀胱癌モデルマウスを用いた免疫チェックポイント阻害剤感受性因子の解明	佐野 剛視	腎泌尿器外科学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科研費
慢性疼痛診療システム均てん化等事業費	水野 泰行	心療内科学講座	17,221,000	補委	厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	池浦 司	内科学第三	500,000	補委	厚生労働省
ベーチェット病に関する調査研究	長沼 誠	内科学第三	200,000	補委	厚生労働省
神経変性疾患領域における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	長沼 誠	内科学第三	300,000	補委	厚生労働省
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	埜中 正博	脳神経外科学	800,000	補委	厚生労働省

小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	濱田 吉則	外科学	150,000	補委	厚生労働省
医療安全地域連携加算等による医療経済・医療安全上の影響の検証と効率的かつ効果的な体制構築に向けた研究	宮崎 浩彰	医療安全管理センター	500,000	補委	厚生労働省
サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築	齋藤 貴徳	整形外科	3,000,000	補委	厚生労働省
痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	中本 達夫	麻酔科学	200,000	補委	厚生労働省
エビデンスに基づいた難治性炎症性腸疾患に対する治療ポジショニングの構築	長沼 誠	内科学第三	11,570,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発 副題: 誰でも利用できる非接触web体力・脳力測定システム開発による自治体と連携した健康事業参加者のすそ野拡大	木村 穰	健康科学	1,327,283	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
成人T細胞白血病細胞の抗原性増大による新規免疫療法の開発	伊藤 量基	内科学第一	1,300,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
独自に発見した全く新しいphenotypeのNK様細胞を用いた養子免疫技術の実用化開発: 第I相医師主導治験	里井 壯平	外科学	1,300,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
ロメリジン塩酸塩錠によるCADASIL患者に対する脳虚血イベント再発抑制	薬師寺 祐介	神経内科学	65,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
急性骨髄性白血病に対する治療用がんペプチドワクチン「DSP-7888」のPhase2医師主導治験	佐竹 敦志	内科学第一	1,215,102	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
脳出血超急性期患者への遺伝子組換え活性型第VII因子投与の有効性と安全性を検証する研究者主導国際臨床試験	薬師寺 祐介	神経内科学	400,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
脊磁計による神経機能情報を活用した新たな診断技術の確立	齋藤 貴徳	整形外科	-	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
生き生きとした歩行を取り戻すための足関節ロボットの創出を目指した研究開発	長谷 公隆	リハビリテーション医学	9,100,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
関節リウマチ患者のサルコペニア改善と分子標的薬の寛解休薬をめざした運動療法の治療ストラテジー開発	孫 瑛洙	内科学第一	286,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)

心臓核医学検査による特発性心筋症病態層別化指標の確立	竹花 一哉	内科学第二	520,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
直腸癌局所再発に対する標準治療確立のための研究開発	関本 貢嗣	外科学	390,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究(フォローアップ)	倉田 宝保	呼吸器腫瘍内科学	390,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
病理学的Stage II/IIIで“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験	井上 健太郎	外科学	390,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
オピオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験	蓮尾 英明	心療内科学	162,500	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+パメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験	倉田 宝保	呼吸器腫瘍内科学	650,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変患者に対するG-CSF動員自家末梢血CD34陽性細胞の経肝動脈投与に関する臨床研究	海堀 昌樹	外科学	270,400	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
がん患者における患者報告アウトカム尺度開発に関する研究	木川 雄一郎	外科学	325,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
QOL計測とハートフルネス実践による食体験共創システム	蓮尾 英明	心療内科学	1,300,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
ジェスチャインタフェースを活用した運動機能障害者のための就労・教育支援モデルの構築および人材育成	阿部 哲也	心療内科学	780,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
新規な硫酸化糖鎖抗体を用いた卵巣がんの検査および治療法の開発	赤間 智也	薬理学	1,540,578	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
新型コロナウイルス感染症が救急医療体制並びに搬送困難例発生に与えた影響評価	欽方 安行	救急医学	400,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
機能性大麦を用いた腸内細菌叢を標的とする新たな食物アレルギー治療法の開発	赤川 翔平	小児科学	2,000,000	補委	公益財団法人ニッポンハム食の未来財団
二分脊椎症の原因遺伝子の解明	埜中 正博	脳神経外科学	1,000,000	補委	公益財団法人大阪コミュニティ財団

脳卒中・循環器病リスクを予測する脳症血管病神経画像マーカー判読AI開発	薬師寺 祐介	神経内科学	2,000,000	補委	一般財団法人藤井節郎記念大阪基礎医学研究会
急性膵炎の病態解明と膵酵素阻害薬を用いた新規治療法の開発	池浦 司	内科学第三	2,000,000	補委	一般財団法人藤井節郎記念大阪基礎医学研究会
片麻痺歩行に対する足関節ロボット治療における適応者および非適応者の特徴分析	桑原 嵩幸	リハビリテーション医学	1,053,000	補委	公益財団法人立石科学技術振興財団
新バイオティクスによる尿路感染症の再発予防効果に関する検討	赤川 友布子	小児科学	100,000	補委	公益財団法人大阪腎臓バンク
二分脊椎症の予防に向けた原因遺伝子の解明:患者ゲノム解析から疾患モデル動物の創造に至るリバーストランスレクションリサーチ	埜中 正博	脳神経外科学	3,000,000	補委	公益財団法人川野小児医学奨学財団
膵臓腹膜播種に対する光免疫療法のターゲットの探索と新規治療法の開発	松井 雄基	外科学	1,000,000	補委	公益財団法人大阪難病研究財団
活性化好酸球制御に向けたガレクチン1の役割解明	尹 泰貴	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,000,000	補委	一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
肝転移を伴う膵癌に対するconversion surgeryの異議	池浦 司	内科学第三	250,000	補委	一般社団法人日本膵臓学会
貧血早期診断に向けたAI画像解析スマホアプリの開発	大町 太一	小児科学	1,000,000	補委	公益財団法人西川医療振興財団
KRAS阻害剤の治療効果改善に向けた低酸素応答関連分子の影響の解明	田中 伯享	がん生物学部門	300,000	補委	公益財団法人大阪対がん協会
オルガノイド培養を用いたIntraductal carcinoma of the prostate (IDC-P)の導管内浸潤に関わる因子の解明と新規治療ターゲットの開発	池田 純一	腎泌尿器外科学	300,000	補委	公益財団法人大阪対がん協会
未治療進行期非小細胞肺癌における下気道細菌叢と抗PD-1抗体の治療効果の検討	竹安 優貴	呼吸器腫瘍内科学	300,000	補委	公益財団法人大阪対がん協会
多面的機能評価を用いた食道がん術後アウトカムリスク因子の同定	福島 卓也	理学療法学科	300,000	補委	公益財団法人大阪対がん協会

合計 136 件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入する
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nomura S, Ichikawa J, Shimizu T .他	内科学第一講座	Association of High Mobility Group Box-Protein 1 and Platelet Microparticles in Patients After Hematopoietic Stem Cell Transplantation	Clinical and applied thrombosis/hemostasis . 29(1):10760296231193398 . 2023	Original Article
2	Wakita S, Marumo A, Morita K .他	内科学第一講座	Mutational analysis of DNMT3A improves the prognostic stratification of patients with acute myeloid leukemia	Cancer science . 114(4):1297-1308 . 2023/04	Original Article
3	Shiba H, Kotani T, Nagai K .他	内科学第一講座	Prognostic Factors Affecting Death in Patients with Rheumatoid Arthritis Complicated by Pneumocystis jirovecii Pneumonia and One-Year Clinical Course: The	International journal of molecular sciences . 24(8):7399 . 2023/04	Original Article
4	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M .他	内科学第一講座	Prognosis of activities of daily living function in hospitalized patients with nursing and healthcare-associated pneumonia due to COVID-19	Influenza and other respiratory viruses . 17(1):e13045 . 2023/04	Original Article
5	Choi I, Okada M, Ito T	内科学第一講座	Real-world data from yttrium-90 ibritumomab tiuxetan treatment of relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin's lymphoma: J3Zi Study	Annals of hematology . 102(5):1149-1156 . 2023/05	Original Article
6	Uno S, Midorikawa S, Inoue K .他	内科学第一講座	Survival outcomes among patients with multiple myeloma in the era of novel agents: exploratory assessment using an electronic medical record database in Japan	PLoS ONE . 18(5):e0285947 . 2023/05	Original Article
7	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M .他	内科学第一講座	Assessment of the pneumonia severity score in community-acquired and nursing and healthcare-associated pneumonia due to COVID-19	Journal of infection and chemotherapy . 29(5):437-442 . 2023/05	Original Article
8	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M .他	内科学第一講座	Clinical Efficacy of the Neutralizing Antibody Therapy Sotrovimab in Patients with SARS-CoV-2 Omicron BA.1 and BA.2 Subvariant Infections	Viruses . 15(6):1300 . 2023/05	Original Article
9	Kurosawa S, Yamaguchi T, Mori A .他	内科学第一講座	Incidence and predictors of recurrent sick leave in survivors who returned to work after allogeneic hematopoietic cell transplantation	Journal of cancer survivorship . 17(3):781-794 . 2023/06	Original Article
10	Futamura M, Ozaki Y, Makino H .他	内科学第一講座	Anti-MDA-5 Antibody-positive Dermatomyositis after Allogeneic Bone Marrow Transplantation for Acute Transformation of Chronic Myelogenous Leukemia.	Internal medicine . 62(7):1081-1087 . 2023/07	Case Report
11	Ebina K, Hirano T, Maeda Y .他	内科学第一講座	Add-on Effectiveness of Methotrexate or Iguratimod in Patients with Rheumatoid Arthritis Exhibiting an Inadequate Response to Janus Kinase Inhibitors: The	Modern rheumatology . 33(4):690-699 . 2023/07	Original Article
12	Ishiura, Yoshihisa; Nomura, Shosaku; Ishii .他	内科学第一講座	Alectinib in a patient with ALK-positive non-small lung cancer unable to swallow capsules	Journal of oncology pharmacy practice . 29(5):1283-1285 . 2023/07	Case Report
13	Makino H, Kotani T, Hata K .他	内科学第一講座	Prognostic factors affecting respiratory-related death in patients with rheumatoid arthritis complicated by interstitial lung disease: An ANSWER cohort study	Modern rheumatology . 33(5):928-935 . 2023/08	Original Article
14	Ebina K, Etani Y, Maeda Y .他	内科学第一講座	Drug retention of biologics and Janus kinase inhibitors in patients with rheumatoid arthritis: the ANSWER cohort	RMD open . 9(3):e003160 . 2023/08	Original Article
15	Ishiura Y, Nomura S, Ishii Y .他	内科学第一講座	Efficacy of gefapixant, a P2X3 antagonist, for lung cancer-related cough: a case report	The Journal of international medical research . 51(8):3000605231194890 . 2023/08	Case Report
16	Fujikura Y, Somekawa K, .他	内科学第一講座	Aetiological agents of adult community-acquired pneumonia in Japan: systematic review and meta-analysis	BMJ open respiratory research . 10(1):e001800 . 2023/09	Original Article
17	Ishiura Y, Nomura S, Ishii Y .他	内科学第一講座	Efficacy of Gefapixant, a P2X3 Antagonist, for Refractory Atopic Cough	International medical case reports journal . 16(4):497-501 . 2023/09	Case Report
18	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M .他	内科学第一講座	Validation of JRS atypical pneumonia score in patients with community-acquired Chlamydia psittaci pneumonia	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy . 29(9):863-868 . 2023/09	Original Article
19	Masako Toyosaki , Noriko Doki , Souichi Shiratori .他	内科学第一講座	Long-term Use of Ibrutinib in Japanese Patients with Steroid Dependent/Refractory cGVHD: Final Analysis of Multicenter Study	Blood cell therapy . 6(4):104-113 . 2023/11	Original Article
20	Shimura Y, Shibayama H, Nakaya A .他	内科学第一講座	Real-world data on induction therapy in patients with transplant-ineligible newly diagnosed multiple myeloma: retrospective analysis of 598 cases from Kansai Myeloma	International journal of hematology . 118(5):609-617 . 2023/11	Original Article
21	Nakaya A, Shibayama H, Uoshima N .他	内科学第一講座	Impact of cytogenetic abnormalities in symptomatic multiple myeloma; a Japanese real-world analysis from Kansai Myeloma Forum	Leukemia research reports . 20:100395 . 2023/11	Original Article
22	Nomura S.	内科学第一講座	Current Status and Challenges in Delivering Comprehensive Care for Patients with Hemophilia	Journal of blood medicine . 14:629-637 . 2023/12	Review
23	Kuwana M, Ito T, Kowata S .他	内科学第一講座	Long-term treatment with fostamatinib in Japanese patients with primary immune thrombocytopenia: An open-label extension study following a phase 3 placebo-controlled, double-blind, parallel-group study	American journal of hematology . 99(2):E55-E59 . 2024/02	Others
24	Abe Y, Kubonishi S, Ri M .他	内科学第一講座	An observational study of once-weekly carfilzomib in patients with multiple myeloma in Japan (Weekly-CAR	Future oncology . 20(17):1191-1205 . 2024/02	Original Article
25	Yuka Ishii,Jun Ichikawa,Masaya Okada .他	内科学第一講座	Successful treatment of Dara sc-CyBorD in a patient with AL amyloidosis and severe heart failure	International Journal of Myeloma . 14(1):5-11 . 2024/02	Case Report
26	Nakayama Y, Watanabe R, Yamamoto W .他	内科学第一講座	IL-6 inhibitors and JAK inhibitors as favourable treatment options for patients with anaemia and rheumatoid arthritis: ANSWER cohort study	Rheumatology . 63(2):349-357 . 2024/02	Original Article
27	Shirasugi I, Onishi A, Nishimura K .他	内科学第一講座	Association of large joint involvement at the start of biological disease-modifying antirheumatic drugs and Janus kinase inhibitors with disease activity and drug retention in patients with rheumatoid arthritis: The	International journal of rheumatic diseases . 27(3):e15097 . 2024/03	Original Article
28	Yutaka Shimazu, Junya Kanda, Satoru Kosugi .他	内科学第一講座	Efficacy of elotuzumab for multiple myeloma in reference to lymphocyte counts and kappa/lambda ratio or B2 microglobulin	Sci Rep . 13(1):5159 . 44986	Original Article
29	Naoyuki Miyashita , Yasushi Nakamori , Makoto Ogata .他	内科学第一講座	Comparison of pneumonia severity scores for COVID-19 patients with the Omicron variant.	J Infect Chemother . 30(5):463-466 . 200(6):802-811+G32:132	Original Article
30	Shosaku Nomura, Akira Shouzu, Takehito Taniura .	内科学第一講座	Effects of Tofogliflozin and Anagliptin Alone or in Combination on Glucose Metabolism and Atherosclerosis-Related Markers in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus	Clinical Pharmacology . 15 41-55 . 2023 May	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
31	Masataka Kuwana, Tomoki Ito, Shugo Kowata .他	内科学第一講座	Fostamatinib for the treatment of Japanese patients with primary immune thrombocytopenia: A phase 3, placebo-controlled, double-blind, parallel-group study	Br J Haematol . 200(6):802-811 . 2023 Mar	Original Article
32	Takehana K.	内科学第二講座	Report on the Regional Workshop on Image Reading Conducted by the Japanese Society of Nuclear Cardiology	Annals of Nuclear Cardiology . 9(1):78-79 . 2023	Original Article
33	Ueda H, Tran QTH, Tran LNT .他	内科学第二講座	Characterization of cytoskeletal and structural effects of INF2 variants causing glomerulopathy and neuropathy	Scientific reports . 13(1):12003 . 2023/07	Original Article
34	Hashimoto K, Fujii K, Kawakami R .他	内科学第二講座	Frequency and Distribution of Sheet and Nodular Calcification in Coronary Arteries in Japanese Patients	International heart journal . 64(5):894- 900 . 2023/09	Original Article
35	Bando K, Yamashita H, Hattori F.	内科学第二講座	An Automated Culture System for Maintaining and Differentiating Human-Induced Pluripotent Stem Cells	Journal of visualized experiments : JoVE . (203):e65672 . 2024/01	Original Article
36	Horitani K, Nicholas W, Chavkin, Arai Y . 他	内科学第二講座	Disruption of the Uty epigenetic regulator locus in hematopoietic cells phenocopies the profibrotic attributes of Y chromosome loss in heart failure	Nature cardiovascular research . 3(3):343-355 . 2024/03	Original Article
37	Ito T, Ikeura T, Notohara K .他	内科学第三講座	A case of type 2 autoimmune pancreatitis with spontaneous remission	Clinical Journal of Gastroenterology . 16(2):297-302 . 2023/04	Case Report
38	Ito T, Shimatani M, Masuda M .他	内科学第三講座	Efficacy and safety of endoscopic stent placement for afferent loop obstruction using a short double-balloon	DEN Open . 3(1):e154 . 2023/04	Original Article
39	Shijimaya T, Tahara T, Uragami T .他	内科学第三講座	Usefulness of texture and color enhancement imaging (TXI) in early gastric cancer found after Helicobacter pylori eradication	Scientific reports . 13(1):6899 . 2023/04	Original Article
40	Ohtsu T, Takahashi Y, Tokuhara M .他	内科学第三講座	Gastric hamartomatous inverted polyp: Report of three cases with a review of the endoscopic and clinicopathological features	DEN Open . 3(1):e198 . 2023/04	Original Article
41	Uragami T, Ando Y, Aoi M .他	内科学第三講座	Establishment of a Novel Colitis-Associated Cancer Mouse Model Showing Flat Invasive Neoplasia	Digestive diseases and sciences . 68(5):1885-1893 . 2023/05	Original Article
42	Kubota K, Oguchi T, Fujimori N .他	内科学第三講座	Steroid therapy has an acceptable role as the initial treatment in autoimmune pancreatitis patients with pancreatic cyst formation: based on a Japanese	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences . 30(5):664-677 . 2023/05	Original Article
43	Sawaragi K, Okada Y, Aono Y .他	内科学第三講座	Cardiac 18F-FDG uptake and new-onset rectal cancer	Oncology letters . 25(5):197 . 2023/05	Original Article
44	Tahara T, Takahama K, Tahara S .他	内科学第三講座	Endoscopic features of lymphoid follicles in the colonic mucosa using the image enhanced endoscopy and its association with colorectal adenoma	PLoS ONE . 18(5):e0286300 . 2023/05	Original Article
45	Takaori A, Hashimoto D, Ikeura T .他	内科学第三講座	Impact of neoadjuvant therapy on gut microbiome in patients with resectable/borderline resectable pancreatic ductal adenocarcinoma	Pancreatology . 23(4):367-376 . 2023/06	Original Article
46	Matsumoto K, Hirohara J, Takeuchi A .他	内科学第三講座	Determinants of the effectiveness of bezafibrate combined with ursodeoxycholic acid in patients with primary biliary cholangitis	Hepatology research . 53(10):989-997 . 2023/06	Original Article
47	Matsumoto Y, Fukui T, Horitani S .他	内科学第三講座	A Short-Term Model of Colitis-Associated Colorectal Cancer That Suggests Initial Tumor Development and the Characteristics of Cancer Stem Cells	International journal of molecular sciences . 24(14):11697 . 2023/07	Original Article
48	Horitani S, Ueda Y, Kumioka Y .他	内科学第三講座	The critical role of Rap1-GAPs Rasa3 and Sip1 in T cells for pulmonary transit and egress from the lymph nodes	Frontiers in immunology . 14:1234747 . 2023/07	Original Article
49	Fukuhara T, Ueda Y, Lee SI .他	内科学第三講座	Thymocyte Development of Humanized Mice Is Promoted by Interactions with Human-Derived Antigen Presenting Cells upon Immunization	International journal of molecular sciences . 24(14):11705 . 2023/07	Original Article
50	Shijimaya T, Tahara T, Yamazaki J .他	内科学第三講座	Microarchitectures of Barrett's esophagus associated with DNA methylation status	Epigenomics . 15(15):759-767 . 2023/08	Original Article
51	Shijimaya T, Tahara T, Yamazaki J .他	内科学第三講座	Comprehensive DNA methylation profiling of Barrett's esophagus and esophageal adenocarcinoma in Japanese patients	Molecular carcinogenesis . 62(8):1191- 1200 . 2023/08	Original Article
52	Nakamura N, Honzaawa Y, Nishimon S .他	内科学第三講座	Combined serum albumin, fecal immunochemical test, and leucine-rich alpha-2 glycoprotein levels for predicting prognosis in remitting patients with ulcerative colitis	Scientific reports . 13(1):13863 . 2023/08	Original Article
53	Tahara T, Shijimaya T, Yamazaki J .他	内科学第三講座	Telomere shortening of Barrett's esophagus and esophageal adenocarcinoma in Japanese patients	Cancer investigation . 41(7):640-645 . 2023/09	Original Article
54	Ikeura T, Tomiyama T, Takaori A .他	内科学第三講座	Long-term Outcomes after Steroid Pulse Therapy in Patients with Type 1 Autoimmune Pancreatitis	Internal medicine (Tokyo, Japan) . 62(20):2931-2940 . 2023/10	Original Article
55	Kobayashi S, Kondo N, Tomiyama T .他	内科学第三講座	Intravenous injection of tumor extracellular vesicles suppresses tumor growth by reducing the regulatory T cell	Cancer immunology, immunotherapy : CII . 72(11):3651-3664 . 2023/11	Original Article
56	Hosoda K, Nakamura N, Suzuki R .他	内科学第三講座	Herpetic esophagitis in healthy young adult	Clinical Journal of Gastroenterology . 16(6):803-806 . 2023/12	Original Article
57	Naganuma M, Kobayashi T, Kunisaki R .他	内科学第三講座	Real-world efficacy and safety of advanced therapies in hospitalized patients with ulcerative colitis	Journal of gastroenterology . 58(12):1198-1210 . 2023/12	Original Article
58	Perugino C, Culver EL, Khosroshahi A . 他	内科学第三講座	Efficacy and Safety of Inebilizumab in IgG4-Related Disease: Protocol for a Randomized Controlled Trial	Rheumatology and therapy . 10(6):1795-1808 . 2023/12	Original Article
59	Horitani S, Saito N, Hosoda K .他	内科学第三講座	Effective hemostasis under gel immersion endoscopy using inflated balloons on the tip of double balloon endoscope for active bleeding in the small intestine	Clinical endoscopy . 57(3):409-411 . 2024/02	Original Article
60	Nakamura N, Sakagami T, Suzuki K .他	内科学第三講座	Successful endoscopic resection for well-differentiated neuroendocrine tumor, Grade 1, in the hypopharynx	Clinical Journal of Gastroenterology . 17(1):80-83 . 2024/02	Case Report
61	Tahara T, Shijimaya T, Nishimon S .他	内科学第三講座	Injury to the Muscle Layer and Risk of Non-cardiac Chest Pain after Endoscopic Submucosal Dissection for Esophageal Cancer	Journal of gastrointestinal and liver diseases : JGLD . 33(1):25-29 . 2024/03	Original Article
62	Ikoma T, Matsumoto T, Boku S .他	呼吸器腫瘍内科	A Retrospective Study Investigating the Safety and Efficacy of Nanoliposomal Irinotecan in Elderly Patients with Unresectable Pancreatic Cancer	Journal of clinical medicine . 12(10):3477 . 2023/05	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
63	Takeyasu Y, Yoshida T, Masuda K .他	呼吸器腫瘍内科	Distinct Progression and Efficacy of First-Line Osimertinib Treatment According to Mutation Subtypes in Metastatic NSCLC Harboring EGFR Mutations	JTO clinical and research reports . 5(2):100636 . 2024/01	Original Article
64	Hasuo H, Kanbara K, Shizuma H .他	心療内科	Short-term efficacy of home-based heart rate variability biofeedback on sleep disturbance in patients with incurable cancer: a randomised open-label study	BMJ Supportive & Palliative Care . 13(2):190-198 . 2023/06	Original Article
65	Matsuda, Y, Hasuo, H, Narita .他	心療内科	Relationship between dyspnoea and related factors in patients with cancer: a cross-sectional study	BMJ Supportive & Palliative Care . 13(e3):e1126-e1132 . 2024/01	Original Article
66	Hasuo H, Mori K, Matsuoka H .他	心療内科	An Estimation Formula for Resonance Frequency Using Sex and Height for Healthy Individuals and Patients with Incurable Cancers	Applied psychophysiology and biofeedback . 49(1):125-132 . 2024/03	Original Article
67	Kataoka Yuko, Nakamura Masataka, Kunieda Takenobu .	脳神経内科	Possible association of crossed cerebellar diaschisis with cerebellar ataxia in cerebral autosomal dominant arteriopathy with subcortical infarcts and	Neurology and Clinical Neuroscience . 11(3):164-166 . 2023/05	Original Article
68	Kato R, Kunieda T, Nakamura M .他	脳神経内科	Imaging Findings of Subarachnoid Hemorrhaging Mimicking Limbic Encephalitis	Internal medicine . 62(14):2155-2156 . 2023/07	Original Article
69	Takahashi M.	脳神経内科	Adenosine A2A signals and dystonia	International review of neurobiology . 170:179-184 . 2023/07	Original Article
70	Nakamura M, Nishii M, Kume K .他	脳神経内科	An autopsy case of sporadic, adult-onset amyotrophic lateral sclerosis with heterozygous p.N1935S SETX gene variant	Journal of neuropathology and experimental neurology . 82(8):734-738 . 2023/07	Original Article
71	Nakayama K, Kohara N, Paku M .他	脳神経内科	Visualization of axonal and volume currents in median nerve compound action potential using	Clinical neurophysiology . 152:57-67 . 2023/08	Original Article
72	Ikeda S, Saito S, Hosoki S .他	脳神経内科	Harboring Cnm-expressing Streptococcus mutans in the oral cavity relates to both deep and lobar cerebral	European journal of neurology . 30(11):3487-3496 . 2023/11	Original Article
73	Ikeda S, Inoue Y, Suzuyama K .他	脳神経内科	Haemorrhagic and ischemic stroke following posterior reversible encephalopathy syndrome and thrombotic microangiopathy in a patient with malignant hypertension	Acta neurologica Belgica . 124(1):339-341 . 2024/02	Others
74	Kato M, Tsuda H, Chen Y .他	精神神経科	The Burden of Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder Traits in Adult Patients with Major Depressive Disorder in Japan	Neuropsychiatric disease and treatment . 19:1055-1067 . 2023/05	Original Article
75	Kato M, Masuda T, Sano F .他	精神神経科	The efficacy and safety of lurasidone in bipolar I depression with and without rapid cycling: A pooled post-hoc analysis of two randomized, placebo-controlled trials	Journal of affective disorders . 337:150-158 . 2023/09	Original Article
76	Kato M, Nakagome K, Baba T .他	精神神経科	Efficacy and safety of zuranolone in Japanese adults with major depressive disorder: A double-blind, randomized, placebo-controlled, phase 2 clinical trial	Psychiatry and clinical neurosciences . 77(9):497-509 . 2023/09	Original Article
77	Kato M, Baba H, Takekita Y .他	精神神経科	Usefulness of mirtazapine and SSRIs in late-life depression: post hoc analysis of the GUNDAM study	European journal of clinical pharmacology . 79(11):1515-1524 . 2023/11	Original Article
78	Kato M, Kikuchi T, Watanabe K .他	精神神経科	Assessing Reliability and Validity of the Oxford Depression Questionnaire (ODQ) in a Japanese Clinical Population	Neuropsychiatric disease and treatment . 19:2401-2412 . 2023/11	Original Article
79	Takekita Y, Hiraoka S, Iwama Y .他	精神神経科	Optimal dose for the efficacy of asenapine in patients with schizophrenia: Real-world data	Neuropsychopharmacology Reports . 44(1):234-239 . 2024/03	Original Article
80	Tanabe Y, Nomura N, Minami M .他	小児科	HIST1H1E syndrome with deficiency in multiple pituitary hormones	Clinical Pediatric Endocrinology . 32(3):195-198 . 2023/07	Case Report
81	Tsujii S, Kaneko K	小児科	Management of treatment-resistant nocturnal enuresis.	Pediatrics International . 65(1):e15573 . 2023/07	Review
82	Kosuga M, Fujii Y, Doi T .他	小児科	Diagnostic Significance of Absence of Post-Feeding Contraction of the Gallbladder in Biliary Atresia: Two Case Reports	Pediatric Reports . 15(3):541-547 . 2023/09	Case Report
83	Urakami C, Yamanouchi S, Kimata T .他	小児科	Abnormal Development of Microbiota May Be a Risk Factor for Febrile Urinary Tract Infection in Infancy	Microorganisms . 11(10):2574 . 2023/10	Original Article
84	Fujishiro S, Tsujii S, Akagawa S .他	小児科	Dysbiosis in Gut Microbiota in Children Born Preterm Who Developed Autism Spectrum Disorder: A Pilot Study	Journal of autism and developmental disorders . 53(10):4012-4020 . 2023/10	Original Article
85	Teramoto Y, Akagawa S, Hori S .他	小児科	Dysbiosis of the gut microbiota as a susceptibility factor for Kawasaki disease	Frontiers in Immunology . 14:1268453 . 2023/10	Original Article
86	Nomura N, Tanabe Y, Minami M .他	小児科	Growth Hormone Therapy for Small for Gestational Age Short Stature Develops Type 2 Diabetes	Case reports in pediatrics . 2023:9912817 . 2023/11	Case Report
87	Yasuda Y, Kato T, Okano M .他	小児科	Efficient protocol for the differentiation of kidney podocytes from induced pluripotent stem cells, involving the inhibition of mTOR	Scientific reports . 13(1):20010 . 2023/11	Original Article
88	Kanda S, Shimbo A, Nakamura Y .他	小児科	Anti-Ku antibody-positive systemic sclerosis and idiopathic inflammatory myopathies overlap syndrome in children: a report of two cases and a review of the literature	Clinical Rheumatology . 42(12):3411-3417 . 2023/12	Case Report
89	Kaibori M, Yoshii K, Matsui K .他	外科	The Prognostic Impact of ABO Blood Group in Hepatocellular Carcinoma Following Hepatectomy	Cancers . 15(11):2905 . 2023/05	Original Article
90	Yamasaki M, Miyata H, Yamashita K .他	外科	Chemoradiotherapy versus triplet chemotherapy as initial therapy for T4b esophageal cancer: survival results from a multicenter randomized Phase 2 trial	British journal of cancer . 129(1):54-60 . 2023/07	Original Article
91	Hashimoto D, Satoi S, Fujii T .他	外科	Is surgical resection justified for pancreatic ductal adenocarcinoma with distant abdominal organ metastasis? A position paper by experts in pancreatic surgery at the Joint Meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) & the Japan Pancreas Society (JPS) 2022 in Kyoto	Pancreatology . 23(6):682-688 . 2023/09	Review
92	Kobayashi T, Miki H, Yamamoto N .他	外科	Retrospective study of an incisional hernia after laparoscopic colectomy for colorectal cancer	BMC surgery . 23(1):314 . 2023/10	Original Article
93	Harino T, Yamasaki M, Murai S .他	外科	Impact of MRI on the post-therapeutic diagnosis of T4 esophageal cancer	Esophagus . 20(4):740-748 . 2023/10	Original Article
94	Kosaka H, Ishida M, Ueno M .他	外科	Impact of Trinal Histological Glandular Differentiation Grade on the Prognosis of Patients with Intrahepatic Cholangiocarcinoma: a Multicenter Retrospective Study	Journal of gastrointestinal surgery . 27(12):2780-2786 . 2023/12	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
95	Sato S, Yamamoto T, Hashimoto D .他	外科	Oncological role of surgical resection in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma with liver-only synchronous metastases in a single-center retrospective	Journal of gastrointestinal oncology . 14(6):2587-2599 . 2023/12	Original Article
96	Matsui C, Shibata S, Hirai C .他	外科	Dramatic Recovery of Vision after Trastuzumab Deruxtecan Treatment of HER2-Positive Breast Cancer with Pituitary Metastasis	Case reports in oncology . 16(1):491-496 . 2023/07	case report
97	Maru N, Hino H, Utsumi T .他	呼吸器外科	Risk factors for postoperative cerebral infarction in Lung Cancer patients: a retrospective study	Journal of cardiothoracic surgery . 18(1):132 . 2023/04	Original Article
98	Haruaki Hino, Takahiro Utsumi, Natsumi Maru .他	呼吸器外科	Surgical risk and survival impact of octogenarian lung cancer patients compared to those of younger patients undergoing surgery	Current Challenges in Thoracic Surgery . 5(23):1-15 . 2023/06	Original Article
99	Haruaki Hino, Tomohiro Murakawa	呼吸器外科	Lung cancer surgery for older patients: a narrative review	Current Challenges in Thoracic Surgery . 5(46):1-18 . 2023/08	Review
100	Nakano T, Kaneda H, Murakawa T	呼吸器外科	Stagnating blood flow related to thrombus formation in pulmonary vein stump after left upper lobectomy	General thoracic and cardiovascular surgery . 71(11):648-656 . 2023/11	Original Article
101	Tomohito Saito, Takenobu Kunieda, Yasumasa Hashimoto .他	呼吸器外科	Internal carotid bulb occlusion by a giant thrombus after thoracoscopic left upper lung lobectomy successfully treated with endovascular stenting: a case report	General Thoracic and Cardiovascular Surgery Cases . 2(1):104-104 . 2023/11	Case Report
102	Tomohito Saito, Anna Hamakawa, Hideto Takahashi .	呼吸器外科	Symptom severity trajectories and distresses in patients undergoing video-assisted thoracoscopic lung resection from surgery to the first post-discharge clinic visit	PLoS ONE . 18(2):e0281998 . 2024/02	Original Article
103	Matsui H, Utsumi T, Maru N .他	呼吸器外科	Alveolar adenoma with a single cyst: A case report	Medicine international . 4(2):16 . 2024/02	Case Report
104	Kuwauchi S, Hosono M, Uetsuki T .他	心臓血管外科	A surgical case of infected cardiac myxoma	SAGE open medical case reports . 11:2050313X221144514 . 2023/05	Case Report
105	Heima D, Takeda M, Tabata Y .他	心臓血管外科	Therapeutic potential of human iPSC cell-derived cardiac tissue in an ischemic model with unloaded condition mimicking left ventricular assist device	The Journal of thoracic and cardiovascular surgery . 168(3):e72-e88 . 2023/11	Original Article
106	Okada T, Minato N, Zempo N .他	心臓血管外科	Midterm Performance of the Autologous Overlay Method in Aortic Surgery	The Annals of thoracic surgery . 117(2):345-352 . 2024/02	Original Article
107	Komai H.	心臓血管外科	Thromboangiitis Obliterans - A Disappearing Disease?	Circulation journal . 88(3):329-330 . 2024/03	Others
108	Maeda M, Nonaka M, Naito N .他	脳神経外科	5-ALA fluorescence-guided resection of pediatric low-grade glioma using the ORBEYE 3D digital exoscope: a	Child's nervous system : ChNS . 39(4):1061-1064 . 2023/04	Case Report
109	Komori Y, Nonaka M, Iwamura H .他	脳神経外科	The effect of shunt removal on the quality of life in patients with congenital hydrocephalus	Child's nervous system : ChNS . 39(5):1261-1266 . 2023/05	Original Article
110	Hashiba T, Nonaka M, Iwamura H .他	脳神経外科	Refractory Delayed Pneumocephalus after Transsphenoidal Cyst Drainage for Rathke's Cleft Cyst in a Patient with a Cerebrospinal Fluid Shunt	Asian journal of neurosurgery . 18(2):342-346 . 2023/06	Case Report
111	Nonaka M, Itakura T, Iwamura H .他	脳神経外科	Comparison of intraoperative neurophysiological monitoring methods for lumbosacral lipoma surgery in infants	Child's nervous system : ChNS . 39(6):1603-1610 . 2023/06	Original Article
112	Nonaka M, Komori Y, Isozaki H .他	脳神経外科	Current status and challenges of neurosurgical procedures for patients with myelomeningocele in real-world Japan	Child's nervous system : ChNS . 39(11):3137-3145 . 2023/11	Original Article
113	Kamei T, Tamada A, Kimura T .他	脳神経外科	Survival and process outgrowth of human iPSC-derived cells expressing Purkinje cell markers in a mouse model for spinocerebellar degenerative disease	Experimental neurology . 369:114511 . 2023/11	Original Article
114	Miyata M, Nonaka M, Ueno K .他	脳神経外科	A ventricular catheter that migrated into the fourth ventricle successfully removed using a neuroendoscope	British journal of neurosurgery . 37(6):1753-1756 . 2023/12	Original Article
115	Isozaki H, Nonaka M, Komori Y .他	脳神経外科	Survey of medications for myelomeningocele patients over their lifetime in Japan	Brain & development . 46(1):18-27 . 2024/01	Original Article
116	Hihara M.	形成外科	Merkel Cell Carcinoma of the Left Medial Orbit	Dermatologic surgery . 49(5):507-509 . 2023/05	Original Article
117	Hihara M, Kouchi Y, Takao T .他	形成外科	Morpheaform basal cell carcinoma of the nasal ala associated with multiple familial trichoepithelioma reconstructed by anterolateral thigh flap: a case report	Case reports in plastic surgery & hand surgery . 10(1):2242494 . 2023/08	Case Report
118	Yuki Matsuoka, Ryo Karakawa, Hidehiko Yoshimatsu .他	形成外科	Postoperative hematoma-induced vasospasm after sarcoma reconstruction using a pedicled anterolateral thigh (ALT) flap: A case report	Plastic and reconstructive surgery, Global open . 11(9):e5271 . 2023/09	Case Report
119	Yuki Matsuoka, Ryo Karakawa, Hidehiko Yoshimatsu .他	形成外科	Use of the head-mounted 4K camera for recording the procedure of a flap surgery	Plastic and reconstructive surgery, Global open . 11(9):e5298 . 2023/09	Review
120	Hihara M, Takeji K, Mitsui T .他	形成外科	Functional and cosmetic reconstruction of palmar heat press injury following wound bed preparation combined with artificial highly concentrated carbon dioxide bathing: A	Scars, burns & healing . 9:20595131231213705 . 2023/11	Case Report
121	Fukui M, Lai F, Hihara M .他	形成外科	Activation of cell adhesion and migration is an early event of platelet-rich plasma (PRP)-dependent stimulation of human adipose-derived stem/stromal cells	Human cell . 37(1):181-192 . 2024/01	Original Article
122	Hihara M, Fukui M, Mitsui T .他	形成外科	En bloc resection of a large bilateral vulvar lipoma through a caesarean scar: A case report	Case reports in women's health . 41:e00597 . 2024/03	Case Report
123	Matsuoka Y, Fukui M, Hihara M .他	形成外科	Ultrastructural changes of vascular smooth muscle cells and resistance to vasospasm treatment in femoral arteries of an arteriosclerotic rat model	Medical molecular morphology . 57(1):45-58 . 2024/03	Original Article
124	Ohata C, Kanai Y, Murotani K .他	皮膚科	Effectiveness of Long-Term Treatment with Brodalumab on Anxiety or Depressive Symptoms in Japanese Patients with Psoriasis: The ProLOGUE Study	Dermatology and therapy . 13(4):1039-1052 . 2023/04	Original Article
125	Honma M, Kanai Y, Murotani K .他	皮膚科	Effectiveness of brodalumab in improving itching and skin pain in Japanese patients with psoriasis: The ProLOGUE	The Journal of dermatology . 50(4):453-461 . 2023/04	Original Article
126	Ueki Y, Takimoto-Ito R, Saito MK .他	皮膚科	Tofacitinib, a suppressor of NOD2 expression, is a potential treatment for Blau syndrome	Frontiers in immunology . 14:1211240 . 2023/06	Original Article
127	Ohata C, Anezaki H, Kaneko S .他	皮膚科	Clinical characteristics of patients with psoriasis with family history: A multicenter observational study	The Journal of dermatology . 50(6):746-752 . 2023/06	Original Article
128	Matsuda T, Takimoto-Ito R, Lipsker D .他	皮膚科	Similarities and differences in autoinflammatory diseases with urticarial rash, cryopyrin-associated periodic syndrome and Schnitzler syndrome	Allergy international . 72(3):385-393 . 2023/07	Review
129	Nakamizo S, Sugiura Y, Ishida Y .他	皮膚科	Activation of the pentose phosphate pathway in macrophages is crucial for granuloma formation in	The Journal of clinical investigation . 133(23):e171088 . 2023/12	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
130	Tanizaki H, Hayashi N, Abe M.	皮膚科	Evaluation of the efficacy of maintenance therapy for acne vulgaris using adapalene 0.1%/benzoyl peroxide 2.5% gel and benzoyl peroxide 2.5% gel for 24 weeks and assessment of atrophic acne scars using three-	The Journal of dermatology . 50(12):1513-1522 . 2023/12	Original Article
131	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M .他	皮膚科	Prognosis of activities of daily living function in hospitalized patients with nursing and healthcare-associated pneumonia due to COVID-19	Influenza and other respiratory viruses . 17(1):e13045 . 45017	Original Article
132	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M .他	皮膚科	Assessment of the pneumonia severity score in community-acquired and nursing and healthcare-associated pneumonia due to COVID-19	Journal of infection and chemotherapy . 29(5):437-442 . 45047	Original Article
133	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M .他	皮膚科	Validation of JRS atypical pneumonia score in patients with community-acquired Chlamydia psittaci pneumonia	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy . 29(9):863-868 . 45120	Original Article
134	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M .他	皮膚科	Clinical Efficacy of the Neutralizing Antibody Therapy Sotrovimab in Patients with SARS-CoV-2 Omicron BA.1 and BA.2 Subvariant Infections	Viruses . 15(6):1300 . 45047	Original Article
135	Ide H, Akehi Y, Fukuhara S .他	腎泌尿器外科	Summary of the clinical practice manual for late-onset hypogonadism	International journal of urology . 30(5):422-430 . 2023/05	Review
136	Taniguchi H, Inoue T, Kawa G .他	腎泌尿器外科	Evaluation of sexual function after dutasteride treatment in patients with once-negative prostate biopsy and benign prostate hyperplasia	Urologia . 90(2):295-300 . 2023/05	Original Article
137	Taguchi M, Yasuda K, Kinoshita H.	腎泌尿器外科	Evaluation of ureteral injuries caused by ureteral access sheath insertion during ureteroscopic lithotripsy	International journal of urology . 30(6):554-558 . 2023/06	Original Article
138	Agarwal A, Farkouh A, Saleh R .他	腎泌尿器外科	Controversy and Consensus on Indications for Sperm DNA Fragmentation Testing in Male Infertility: A Global Survey, Current Guidelines, and Expert Recommendations	The world journal of men's health . 41(3):575-602 . 2023/07	Original Article
139	Farkouh A, Agarwal A, Hamoda TAA .他	腎泌尿器外科	Controversy and Consensus on the Management of Elevated Sperm DNA Fragmentation in Male Infertility: A Global Survey, Current Guidelines, and Expert	The world journal of men's health . 41(4):809-847 . 2023/10	Original Article
140	Nishiyama N, Kita Y, Ito K .他	腎泌尿器外科	Second-line Pembrolizumab for Metastatic Urothelial Carcinoma: Differences in Treatment Outcomes According to the Primary Site	Anticancer research . 43(11):5041-5050 . 2023/11	Original Article
141	Sano T, Saito R, Aizawa R .他	腎泌尿器外科	Current trends in the promising immune checkpoint inhibition and radiotherapy combination for locally advanced and metastatic urothelial carcinoma	International journal of clinical oncology . 28(12):1573-1584 . 2023/12	Review
142	Yoshida T, Tsuruoka N, Haga Y .他	腎泌尿器外科	Automatic irrigation system with a fiber-optic pressure sensor regulating intrapelvic pressure for flexible	Scientific reports . 13(1):22853 . 2023/12	Original Article
143	Agarwal A, Farkouh A, Saleh R .他	腎泌尿器外科	Technical Aspects and Clinical Limitations of Sperm DNA Fragmentation Testing in Male Infertility: A Global Survey, Current Guidelines, and Expert Recommendations	The world journal of men's health . 42(1):202-215 . 2024/01	Original Article
144	Hattori Y, Fujiwara R, Mori H .他	眼科	Treatment strategy for BVO-ME based on long-term outcomes correlating retinal structure by OCT image and	BMC ophthalmology . 23(1):385 . 2023/09	Original Article
145	Takahashi K, Cheung CMG, Iida T .他	眼科	Efficacy, durability, and safety of faricimab in patients from Asian countries with neovascular age-related macular degeneration: 1-Year subgroup analysis of the TENAYA	Graefes archive for clinical and experimental ophthalmology . 261(11):3125-3137 . 2023/11	Original Article
146	Mitani A, Iwai H, Inaba M .他	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Inoculation of lymphocytes from young mice prevents progression of age-related hearing loss in a senescence-associated mouse model	Experimental gerontology . 177:112184 . 2023/06	Original Article
147	Suzuki K, Noda Y, Sakagami T .他	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Head and Neck Solitary Fibrous Tumor Presenting as Salivary Gland Tumor: Two Case Reports and Review of	Case reports in oncology . 16(1):465-473 . 2023/07	Case Report
148	Hidaka H, Ito M, Ikeda R .他	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Clinical practice guidelines for the diagnosis and management of otitis media with effusion (OME) in children in Japan - 2022 update	Auris, nasus, larynx . 50(5):655-699 . 2023/10	Review
149	Hidaka H, Tarasawa K, Fujimori K .他	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Identification of Risk Factors for Mortality and Prolonged Hospitalization in Patients Treated With Surgical Drainage for Otogenic Intracranial Complications: A Nationwide Study Using a Japanese Inpatient Database	Otology & neurotology . 44(10):1027-1032 . 2023/12	Original Article
150	Yun Y, Kurasawa S, Morita M .他	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Postoperative hemorrhage after Le Fort I osteotomy hemostasis with angiographic embolization: report of two	Journal of surgical case reports . 2023(12):rad663 . 2023/12	Case Report
151	Minami K, Ueno Y, Minamide Y .他	放射線科	A case of pituitary metastasis discovered when diabetes insipidus developed in a patient 20 years after breast cancer treatment	Radiology case reports . 18(11):3904-3907 . 2023/08	Original Article
152	Koike Y, Yui M, Nakamura S .他	放射線科	Artificial intelligence-aided lytic spinal bone metastasis classification on CT scans	International journal of computer assisted radiology and surgery . 18(10):1867-1874 . 2023/10	Original Article
153	Anetai Y, Doi K, Takegawa H .他	放射線科	Extracting the gradient component of the gamma index using the Lie derivative method	Physics in medicine and biology . 68(19):195028 . 2023/10	Original Article
154	Yoshida A, Nakamura S, Oh RJ .他	放射線科	The Dosimetric Analysis of Duodenal and Intestinal Toxicity After a Curative Dose Re-irradiation Using the Intensity-Modulated Radiotherapy for Abdominopelvic	Cureus . 15(12):e50920 . 2023/12	Original Article
155	Koike Y, Ohira S, Yamamoto Y .他	放射線科	Artificial intelligence-based image-domain material decomposition in single-energy computed tomography for head and neck cancer	International journal of computer assisted radiology and surgery . 19(3):541-551 . 2024/03	Original Article
156	Hisamatsu Y, Kita M, Yokoe T .他	産科婦人科	A pilot study of repeated 5-aminolevulinic acid photodynamic therapy for cervical intraepithelial neoplasia by a newly developed intravaginal irradiation system	Photodiagnosis and photodynamic therapy . 43:103655 . 2023/09	Original Article
157	Takuya Yokoe, Hisato Fukuda, Yuri	産科婦人科	Acute abdomen caused by intermodular bleeding from a multiple myoma pseudocapsule in a postmenopausal	BMJ case reports . 16(10):e255230 . 2023/10	Case Report
158	Kita M, Butsuhara Y, Hisamatsu Y .他	産科婦人科	Pneumovaginoscopy-assisted radical hysterectomy for early-stage cervical cancer: a novel bidirectional approach for tumor spillage prevention and R0 resection	Journal of gynecologic oncology . 34(6):e80 . 2023/11	Original Article
159	Kita M, Shiraga H, Fukuda H .他	産科婦人科	Successful pneumovaginoscopic surgery for recurrent abscess of OHVIRA syndrome, preventing further recurrence and subsequent pregnancy	Asian journal of endoscopic surgery . 17(1):e13270 . 2024/01	Original Article
160	Morikawa M, Kamiya A, Yoshida A .他	産科婦人科	Differences between Japanese new criteria and pregnancy-specific modified Isth DIC scores for	International journal of hematology . 119(3):265-274 . 2024/03	Original Article
161	Yoshida A, Yasuda K, Okada H.	産科婦人科	Changes in the conflicting nongenomic effects of progesterone in rat myometrium during pregnancy	Life sciences . 340:122454 . 2024/03	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
162	Komiya S, Watanabe J, Terayama T .他	産科婦人科	Efficacy and safety of follitropin delta versus follitropin alpha/beta in infertility treatment: A systematic review and meta-analysis	Reproductive Medicine and Biology . 23(1):e12573 . 2024/03	Review
163	Yokoe T, Shiraga H, Ikeura T .他	産科婦人科	Transgastric drainage for subdiaphragmatic abscess secondary to perforation of the sigmoid colon after cytoreductive surgery for advanced ovarian cancer	BMJ case reports . 17(3):e259172 . 2024/03	Case Report
164	Yoshida T, Nakamoto T	麻酔科	Blockade of intercostobrachial nerve by an erector spinae plane block at T2 level: a case report.	JA clinical reports . 9(1):49 . 2023/08	Case Report
165	Yoshida T, Nakamoto T	麻酔科	Comment on: "Blockade of intercostobrachial nerve by an erector spinae plane block at T2 level"—a reply.	JA clinical reports . 9(1):64 . 2023/10	Others
166	Nobuhiro Shibata, Tetsuhiro Yoshinami, Kentaro Tamaki .他	がんセンター	Real-world data analysis of perioperative chemotherapy patterns, G-CSF use, and FN status in patients with early breast cancer	Breast cancer research and treatment . 201(2):265-273 . 2023/07	Original Article
167	Sawada S, Sakamoto Y, Kirihigashi M .他	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	Drug holiday of high-dose denosumab and recovery from osteoclast inhibition using immunohistochemical investigation of 7 patients with medication-related osteonecrosis of the jaw undergoing segmental	Journal of dental sciences . 18(4):1645-1650 . 2023/10	Original Article
168	Yun Y, Kurasawa S, Morita M .他	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	Postoperative hemorrhage after Le Fort I osteotomy hemoostasis with angiographic embolization: report of two	Journal of surgical case reports . 2023(12):rad663 . 2023/12	Case Report
169	Kojima Y, Sawada S, Sakamoto Y.	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	Medication-related osteonecrosis of the lower jaw without osteolysis on computed tomography images.	Journal of bone and mineral metabolism . 42(1):27-36 . 2024/01	Original Article
170	Noda Y, Sawada S, Sakagami T .他	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	Adenoid ameloblastoma with BRAF p.V600E mutation revealing ameloblastomatous origin: a first case report	Head Neck Pathol . 17(3):788-792 . 2023/09	Case Report
171	Bui DV, Nguyen LM, Kanda A .他	臨床検査医学センター	CD69 Signaling in Eosinophils Induces IL-10 Production and Apoptosis via the Erk1/2 and JNK Pathways, Respectively.	Biomolecules. 2024 Mar 18;14(3):360. doi: 10.3390/biom14030360.	Case Report
172	Nguyen LM, Kanda A, Kamioka Y .他	臨床検査医学センター	Mouse eosinophil-associated ribonuclease-2 exacerbates the allergic response.	Allergy. 2024 Aug;79(8):2251-2255. doi: 10.1111/all.16061. Epub 2024 Feb 23.	Case Report
173	Kobayashi Y, Chu HH, Bui DV .他	臨床検査医学センター	The Neutralization of the Eosinophil Peroxidase Antibody Accelerates Eosinophilic Mucin Decomposition.	Cells. 2023 Nov 30;12(23):2746. doi: 10.3390/cells12232746.	Case Report
174	Mitani A, Iwai H, Inaba M .他	臨床検査医学センター	Inoculation of lymphocytes from young mice prevents progression of age-related hearing loss in a senescence-associated mouse model.	Exp Gerontol. 2023 Jun 15;177:112184. doi: 10.1016/j.exger.2023.112184. Epub 2023 May 4.	Case Report
175	Sakamoto D, Hamada S, Kobayashi Y .他	臨床検査医学センター	Omalizumab is effective for a patient with pollen-food allergy syndrome who experienced intractable lip edema.	Auris Nasus Larynx. 2023 Oct;50(5):805-810. doi: 10.1016/j.anl.2022.12.001. Epub 2022 Dec 27.	Case Report
176	Noda Y, Sawada S, Sakagami T .他	病理学講座	Adenoid ameloblastoma with BRAF p.V600E mutation revealing ameloblastomatous origin: a first case report	Head and neck pathology . 17(3):788-792 . 2023/09	Case Report
177	Noda, Y; Nakanishi, Y; Tsuta .他	病理学講座	Cell block-based two-dimensional and immunocytochemical analyses could reduce atypical/indeterminate case frequency in breast fine-	Acta cytologica . 67(6):583-592 . 2023/10	Case Report
178	Shintaku M, Ohta M, Chihara H .他	病理学講座	Adult cerebral high-grade glioneuronal tumor with perivascular or pseudopapillary growth co-existing with low-grade tumor: a case report	International journal of clinical and experimental pathology . 16(10):294-302 . 2023/10	Case Report
179	Noda Y, Sakagami T, Suzuki K .他	病理学講座	Direct specimen collection during routine operation improves nucleic acid quality in genetic analysis samples for head and neck tumors: A retrospective study	Pathology, research and practice . 252:154943 . 2023/12	Original Article
180	Ushirozako H, Yoshida G, Imagama S .他	整形外科	Efficacy of Transcranial Motor Evoked Potential Monitoring During Intra- and Extramedullary Spinal Cord Tumor Surgery: A Prospective Multicenter Study of the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine	Global spine journal . 13(4):961-969 . 2023/05	Original Article
181	Paku M, Ando M, Itakura T .他	整形外科	Magnetoneurography to investigate the mechanisms underlying the P9 far-field potential	Clinical neurophysiology . 150:197-204 . 2023/06	Original Article
182	Horii E, Koh S, Otsuka J .他	整形外科	Midterm surgical outcomes of duplicated thumbs according to new classification	Plastic and reconstructive surgery . 152(1):116e-125e . 2023/07	Original Article
183	Ishihara M, Taniguchi S, Ono N .他	整形外科	New Effective Intraoperative Techniques for the Prevention of Coronal Imbalance after Circumferential Minimally Invasive Correction Surgery for Adult Spinal Deformity	Journal of clinical medicine . 12(17):5670 . 2023/08	Original Article
184	Hirota R, Terashima Y, Ohnishi H .他	整形外科	Prognostic impact of respiratory dysfunction in elderly patients with cervical spinal cord injury and/or fractures: a multicenter survey	European spine journal . 32(10):3522-3532 . 2023/10	Original Article
185	Ushirozako H, Yoshida G, Imagama S .他	整形外科	Role of Transcranial Motor Evoked Potential Monitoring During Traumatic Spinal Injury Surgery: A Prospective Multicenter Study of the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research	Spine . 48(19):1388-1396 . 2023/10	Original Article
186	Ishihara M, Taniguchi S, Adachi T .他	整形外科	Surgical approaches and short-term results of circumferential minimally invasive correction surgery for adult idiopathic scoliosis	World neurosurgery . 178:37-47 . 2023/10	Original Article
187	Oe K, Iida H, Hirata M .他	整形外科	An atypical periprosthetic fracture in collarless, polished, tapered, cemented stems of total hip arthroplasty: A report of five SC-stem cases and literature review	Journal of orthopaedic science . 28(6):1422-1429 . 2023/11	Case Report
188	Oe K, Iida H, Sogawa S .他	整形外科	Trochanteric claw plate fixation for greater trochanteric fracture or osteotomy in total hip arthroplasty	Acta medica Okayama . 77(6):619-625 . 2023/12	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
189	Oe K, Iida H, Otsuki Y .他	整形外科	The modified Spitzzy shelf acetabuloplasty for the dysplastic hip: A retrospective study of 144 hips	Bone & joint open . 4(12):932-941 . 2023/12	Original Article
190	Yoichi Tani, Nobuhiro Naka, Naoto Ono .他	整形外科	Lumbar lordosis restoration by minimally invasive short-segment fusion with anterior column realignment for adult spinal deformity: minimum 2-year follow-up	Journal of neurosurgery. Spine . 40(2):152-161 . 2024/02	Original Article
191	Nori S, Watanabe K, Takeda K .他	整形外科	Influence of the timing of surgery for cervical spinal cord injury without bone injury in the elderly: A retrospective multicenter study	Journal of orthopaedic science . 29(2):480-485 . 2024/03	Original Article
192	Tamai K, Terai H, Nakamura H .他	整形外科	Impact of malnutrition on mortality and neurological recovery of older patients with spinal cord injury	Scientific reports . 14(1):5853 . 2024/03	Original Article
193	Onoe A, Muroya T, Nakamura Y .他	救急医学科	Onoe A, Muroya T, Nakamura Y, Nakamura F, Yagura T, Nakajima M, Kishimoto M, Sakuramoto K, Kajino K, Ikegawa H, Kuwagata Y.	BMC musculoskeletal disorders . 24(1):704 . 2023/09	Original Article
194	Kazuhito Sakuramoto, Daiki Wada, Shuhei Maruyama .他	救急医学科	Kazuhito Sakuramoto, Daiki Wada, Shuhei Maruyama, Takashi Muroya, Fukuki Saito, Yasushi Nakamori, Yasuyuki Kuwagata	BMC infectious diseases . 24(1):223 . 45323	Original Article

194件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
----	-------	---------------------------	-----	---------------	------

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					case report
3					
~					

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ○申請書手続き及び判定の通知 ○研究の実施及び報告 ○有害事象の報告 ○健康被害に対する保障 ○実施制限及び再審査 ○公開	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 産学連携活動に伴い発生する利益相反を適切にマネジメントすることに関し必要な事項を定めることにより、本法人及び教職員等の社会的信頼を確保するとともに、もって教育、研究及び社会への貢献を継続的かつ適切に遂行することを目的としている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	・集合形式で2回の講習会と 2回のワークショップを開 催
-----------------------	------------------------------------

・研修の主な内容

2023年度 臨床研究等倫理講習会

- 2023/ 7/ 4(火) 第17回 臨床研究等倫理講習会
【演題】 臨床研究における生物統計学
【演者】 京都女子大学 データサイエンス学部 阿部貴行 先生
- 2024/ 1/29(月) 第18回 臨床研究等倫理講習会
【演題】 第一部：医学系研究の種類
第二部：事例から学ぶ研究倫理
【演者】 第一部：関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座 倉田宝保 先生
第二部：関西医科大学 外科学講座 杉江知治 先生

2023年度 臨床研究ワークショップ

- 2023/ 9/22(金) 第28回 臨床研究ワークショップ
【演題】 看護研究8
臨床看護研究における研究プロセス
～リサーチクエスションから適切な研究デザインを選択する方法～
【演者】 関西医科大学 看護学部・大学院看護学研究科 李錦純 先生
- 2024/ 2/28(水) 第29回 臨床研究ワークショップ
【演題】 看護研究9
臨床看護研究における研究計画書の立案プロセスと作成のコツ
【演者】 関西医科大学 看護学部・大学院看護学研究科 李錦純 先生

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

多くの診療各科ではその所属する学会が定める専門医を目指して研修が行われますが、本院では研修の年ごとの具体的目標と研修計画が設定されています。また、研修を円滑に進捗させるため研修進捗状況の把握、評価し問題があれば改善を勧告する後期研修システムを備えています。

また、手術支援ロボット　ダ・ヴィンチSiの導入など、高度かつ先進的な医療に関する研修を行っています。

平成25年4月には、本院に直結する新学舎がオープンし、最新の研究室、基本的な医療技術及び医療実践能力の向上を目的としたシミュレーションセンターや電子ジャーナルを取り入れた図書館などを備え研修を最高レベルで一貫して行える体制を整えています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	154 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伊藤 量基	血液呼吸器膠原病感染症内科	診療部長・主任教授	32年	アレルギー疾患内科 または アレルギー科、リウマチ科を含む
塩島 一郎	循環器腎内分泌代謝内科	診療部長・主任教授	38年	
長沼 誠	消化器肝臓内科	診療部長・主任教授	32年	
倉田 宝保	呼吸器腫瘍内科	診療部長・主任教授	34年	
蓮尾 英明	心療内科	診療部長・主任教授	21年	
薬師寺 祐介	脳神経内科	診療部長・主任教授	28年	
嶽北 佳輝	精神神経科	診療科長・診療教授	21年	
金子 一成	小児科	診療部長・主任教授	40年	
山崎 誠	上部消化管外科	診療部長・主任教授	28年	
渡邊 純	下部消化管外科	診療部長・主任教授	23年	
海堀 昌樹	肝臓外科	診療部長・主任教授	33年	
里井 壯平	胆膵外科	診療部長・主任教授	33年	
高田 正泰	乳腺外科	診療部長・主任教授	23年	
土井 崇	小児外科	診療部長・主任教授	22年	
小山 忠明	心臓血管外科	診療部長・主任教授	33年	
村川 知弘	呼吸器外科	診療部長・主任教授	32年	
埜中 正博	脳神経外科	診療部長・主任教授	32年	
齋藤 貴徳	整形外科	診療部長・主任教授	41年	
長谷 公隆	リハビリテーション科	診療部長・主任教授	39年	
覚道 奈津子	形成外科	診療部長・主任教授	22年	
谷崎 英昭	皮膚科	診療部長・主任教授	22年	
木下 秀文	腎泌尿器外科	診療部長・主任教授	36年	

今井 尚徳	眼科	診療部長・主任教授	23年	
岩井 大	耳鼻咽喉科	診療部長・主任教授	41年	内分泌外科を含む
谷川 昇	放射線科	診療部長・主任教授	39年	
岡田 英孝	産婦人科	診療部長・主任教授	31年	
上林 卓彦	麻酔科	診療部長・主任教授	37年	
鋤方 安行	救急医学科	診療部長・主任教授	41年	
薦 幸治	病理診断科	診療部長・主任教授	28年	
神田 晃	臨床検査医学科	診療部長・主任教授	30年	
兒島 由佳	歯科・口腔外科	診療部長・主任教授	29年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数 報告なし
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ①倫理と個人情報 ②危機管理訓練 ③ISO15189：2022版説明会 ・研修の期間・実施回数 ①令和6年1月18日～4月1日 ②令和6年3月15日～4月12日 ③令和6年4月8日～4月15日 ・研修の参加人数 ①79名 ②70名 ③49名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数 報告なし

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 松田 公志
管理担当者氏名	事務部長 藤原宏司、看護部長 島村里香、薬剤部長 谷川昇

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	管理課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	手術部
		看護記録	各病棟
		検査所見記録	臨床検査部
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	病歴情報課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病歴情報課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	管理課
		高度の医療の提供の実績	各診療科
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
		高度の医療の研修の実績	各診療科
		閲覧実績	病歴情報課
		紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携部
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	・保管部署で管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医用工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医用工学部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医用工学部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医用工学部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	用度課
		監査委員会の設置状況	法人 総合企画課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	内部監査室
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	管理課
管理者が有する権限に関する状況	管理課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人 総合企画課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 松田 公志
閲覧担当者氏名	管理課長 船原 宏通 医事課長 越智 雅章 病歴情報課長 石原 久美子
閲覧の求めに応じる場所	・1階 情報ライブラリー室
閲覧の手続の概要 ・閲覧申請書を記入の上、申請窓口である管理課へ提出する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊟・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理に関する基本的考え方 2 医療安全管理対策委員会その他の組織に関する基本的事項 3 職員に対する医療安全管理のための研修に関する基本方針 4 医療事故報告等の医療安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する当指針の閲覧に関する基本方針を含む） 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 その他医療安全の推進のための必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（㊟・無） ・ 開催状況：年27回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理対策委員会（12回） 2 セーフティマネージャー委員会（11回） 3 医療の経過検討委員会（4回） 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 1 「当院における医療安全管理の体制とルール」 2 「グループワーク チームSTEPPS（初級編）」 3 「災害医療研修会」 4 「立入検査前講習」 5 「医療安全大会」 6 「やさしいインスリン塾」 7 「みんなで情報を守ろう！」 8 e-ラーニング（外部）以下4種類から2種類を選択受講 <ol style="list-style-type: none"> (1) KCLの誤投与 (2) 電話での不十分な意思疎通による配膳ミス (3) 転倒・転落 (4) リーダーシップと心理的安全性 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（㊟・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 死亡・死産報告の義務化と合併症報告の対象の一部基準化 2 医療安全管理マニュアル年1回見直し及び改定 3 医療安全管理部作成のオリジナル動画配信による職員講習の実施 受講内容の理解度を測る確認テストを兼ねたアンケートの実施 4 技術研修（模擬体と超音波装置を使用したシミュレーション訓練） 5 新入職者、中途入職者への医療安全に関する入職オリエンテーション実施 6 医療事故発生時、発生部署及び関連部署への聞き取り 	

- 7 医療事故防止策は、セーフティマネージャーが中心となり、時系列行動表作成、背景要因を検討し、今後の改善に向けた方策を立案
- 8 事例から検討された医療安全確保のための方策について、ポスター・通知書等で職員に周知、また、方策の実施状況を確認
- 9 放射線科の検査報告書の未読リストを該当診療科に送付し、報告書見落とし予防対策を実施
- 10 年1回、全部署及びセーフティマネージャーに「医療安全情報」を配付
- 11 毎月、全部署及びセーフティマネージャーに、医療安全管理部作成の「医療安全マンスリーレポート」及び「チームSTEPPSポスター」を配付
- 12 テーマに沿った医療安全院内ラウンドを年5回実施
- 13 日本私立医科大学協会主催の他大学病院との相互ラウンドの実施

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連感染対策に関する基本的な考え 2 感染対策委員会の設置 3 感染対策マニュアル 4 感染症の報告 5 医療関連感染発生時の対応 6 職員研修の基本方針 7 患者への指針の公開 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ MRSAおよび多剤耐性菌の検出状況把握と対策 ○ 抗菌薬の使用状況調査と感受性の推移調査 ○ 抗菌薬使用報告書、TDM等の抗菌薬適正使用状況調査 ○ 院内感染発生時の対応、対策 ○ 感染対策研修会の企画および開催 ○ 院内ラウンド サーベイランスの実施 ○ 血液培養陽性症例ラウンドの実施 ○ 針刺事故の発生状況と事故防止対策の検討 ○ 感染対策地域連携合同カンファレンスでの報告 ○ 滅菌材料部滅菌状況報告 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染経路別予防策と抗菌薬適正使用 ○ 医療安全・感染制御合同講習会 ○ 外部コンテンツ(e-ラーニング) <ul style="list-style-type: none"> ・ 抗菌薬を大事にしよう！AMRに立ち向かうために ・ アウトブレイクを防ごう（通年編） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ 病棟ラウンド(IGTラウンド)時の監査内容のフィードバック ・ 感染対策研修会の開催、e-ラーニング ・ 感染対策地域連携合同カンファレンスの開催(4回/年) 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 新型コロナウイルス感染症が収束せず、オンデマンドによる講習を実施 ○医薬品安全講演会（院内コンテンツ）：随時、全職員対象 「医薬品安全講習 ～やさしいインスリン塾～」 ○e-ラーニング（外部コンテンツ）：随時、全職員対象 「KCLの誤投与」のコンテンツを課題選定して、優先的に受講するようにした。 ○その他（対象者限定） <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に関連したインシデント検討会（6, 7, 9, 10, 11月, セーフティマネージャー対象） ・ 新入職対象 医薬品安全研修（4月, 新入職看護師・薬剤師対象） ・ 研修医対象 医薬品安全研修（4月, 新入職研修医対象） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 （ 有・無 ） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医薬品の採用・購入 ○調剤室・病棟における医薬品の管理 ○病棟・各部門への医薬品の供給 ○外来・入院患者への医薬品使用 ○医薬品情報の収集・管理・提供 ○手術・麻酔部門における医薬品安全使用 ○救急部門・集中治療部門における医薬品安全使用 ○輸血・血液管理部門・血液浄化部門における医薬品安全使用 ○画像診断部門・内視鏡部門・外来化学療法部門・歯科領域における医薬品安全使用 ○他施設との連携に関する事項 ○事故発生時の対応 ○教育・研修 ○医薬品関連の情報システムの利用 ○その他 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> ○硝子体手術における内境界膜の染色液（眼内注入）「ブリリアントブルーG」 ○陰唇癒合症の治療に用いる「0.05%エストロゲン軟膏」など ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○院内医療安全情報 No. 45「SGLT2阻害薬の術前休薬忘れ」の発行（2023. 5） ○薬剤師による入院時の薬剤情報に関する診療録記録項目追加（2023. 5） ○高濃度カリウム注射薬の安全使用に関する院内ルールの整備（2023. 6） ○院内医療安全情報 No. 46「irAEを知っていますか？」の発行（2023. 9） ○医療の質管理委員会「術前中止薬の確実な中止・再開検討会」の新規設置（2023. 9） 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年115回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○特定医療機器（人工心肺、人工呼吸器、除細動器、閉鎖式保育器、血液浄化装置、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線装置）に関する取扱い説明、インシデント事案を含めた研修</p> <p>○新規購入に伴う取扱い研修実施</p> <p>○新人研修医、看護師へのシリンジ、輸液ポンプ、人工呼吸器、生体情報モニタ等の実機使用説明実施</p> <p>○特定医療機器の定期研修に関してはe-ラーニングにて実施</p> <p>→放射線関係については放射線部で対応実施</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： あり</p> <p>○放射線関連装置は放射線治療部において、その他の特定医療機器については医用工学部にて保守点検計画書を作成し、それに基づき定期点検を実施、点検記録簿を作成している。特定医療機器以外では生体情報モニタ、電気メス、シリンジ、輸液ポンプ、ペースメーカー、麻酔器、逐次型空気圧式マッサージ器、低圧持続吸引器も保守点検計画にて実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： なし</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○日本医療評価機構、PMDA、メーカーから発出される自主回収・安全情報を院内ALL USERメールにて情報発信している。その中で当院に設置（使用）しているものは医用工学部及び、医療機器安全管理責任者、関連部署へ報告実施している。また、医用工学部H.P上で医療機器安全情報の発信もしている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☑・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>関西医科大学附属病院組織分掌規則 第58条第2項に「医療安全管理責任者は、医療安全管理部、医療安全管理対策委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する」と明記されている。 医療安全管理責任者は、医療安全管理委員会の委員長に指定されており、当該委員会において、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者からの業務報告内容について、委員長として統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☑（7名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1ヶ月毎に薬品別使用量や金額使用量を集計した「院内医薬品使用状況一覧」を作成しており、当院での使用状況を把握している。 ○医薬品医療機器情報配信サービス（PMDAメディナビ）を利用するなど、国内外の医薬品情報をwebより収集している。 ○医薬品安全使用に関する情報は、必要に応じて①メール配信および②セーフティマネージャー委員会にて報告している。（インシデント検討会資料、マンスリーレポートを含む）また、その議事録を職員全員に回覧後、議事録閲覧確認票（押印票）の回収により周知状況を把握している。 ○医薬品安全使用に関する情報は、薬剤部 薬品情報科でファイリングして整理しており、過去のメール配信記録は職員がいつでも閲覧できるようホームページ上に整理している。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調剤時に処方箋を確認し、処方薬剤が適応外又は併用禁忌等の使用方法に該当するか否かを把握している。 ○上記に該当する場合は薬学的知見に基づき、調剤者および監査者は、提出された文献等を参考に使用の必要性やリスク検討を加え、処方の妥当性を確認している。 ○適応外または併用禁忌等について疑義照会した場合の照会内容は、処方箋のコピーを記録として保管し、医薬品安全管理責任者に毎月報告している。 ○必要に応じて、医師に適応外または併用禁忌等について指導を行うとともに、院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報共有を行っている。 <p>・担当者の指名の有無（☑・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部，職種 医師1名） （所属：薬剤部，職種 薬剤師3名） （所属：医療安全管理部，職種 薬剤師1名）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☑・無

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有 ・ 無)
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容
 - 1 インフォームドコンセントマニュアルに説明と同意に関する方針、手順を定めている。
 - 2 説明・同意書の新規作成、改定文書は全て医療安全管理部門で確認している。
 - 3 遵守状況の確認は、医療説明等管理責任者参加の診療録監査委員会にて実施している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○診療録等の適切な管理に関すること ○定期的な診療録等の記載内容確認に関すること ○診療録等の記載方法や内容の指導に関すること 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専従（8）名、専任（ ）名、兼任（8）名 <ul style="list-style-type: none"> うち医師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（1）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理対策委員会、医療の経過検討委員会、セーフティーマネージャー委員会等医療安全部が管轄する各委員会の運営と庶務に関すること 2 医療事故や医療安全管理部が介入した事象における、診療録の確認、患者及び家族への説明、発生原因の究明と対応状況の確認、事象から派生した事項について職員への指導 3 医療に係る安全管理の連絡調整、医療安全の確保のための対策の推進、医療安全の確保に資する診療状況の把握と職員への安全意識向上の取組みとモニタリング <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（3件） 	

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
 - ＞部門会議の開催（2023/5/19、2023/7/21、2023/10/20、2024/1/12）
 - ＞申請技術の審査、承認
 - ＞許可された技術の定期的なモニタリング
 - ＞業務手順書の見直し
 - ＞院内ホームページの開設（職員周知用）
 - ＞各診療部科長への周知
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（85件）、及び許可件数（85件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
 - 未承認：0件
 - 適応外：85件
 - 禁忌：0件
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年636件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及

び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年54件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- 1 死亡・死産報告と合併症報告の義務について、医師入職オリエンテーション時に説明している
- 2 セーフティマネージャー委員会にて、件数報告及び周知を実施している。
- 3 院内で発生した死亡情報及び合併症報告を確認し、インシデント報告がされていない診療科等に報告するよう督促を行うなど活動をしている。
- 4 毎月の医療安全管理対策委員会において、死亡・死産報告、合併症報告の件数及び事例を報告し、必要に応じ改善策を審議している。審議結果は病院長へ報告している。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立ち入り（）（病院名：近畿大学病院）・無

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）（病院名：近畿大学病院）・無

・技術的助言の実施状況

1 インシデントやアクシデントの報告等の状況

助言なし

2 医療安全管理委員会の業務の状況

【助言】セーフティマネージャー委員会の運営において、職種別参加率では医師が低く、医師全体の医療安全参加意識に関して気になります。インシデント検討会で医師向けのフィードバックをするなど試みられているようですが、会議の開催を2回に分けるなど出席しやすい仕組みづくり等の検討をお伝えしました。

【対応】令和6年3月から以下の対応を開始し、医師（63名）の出席率がやや増加した。

（4ヶ月平均：令和5年度12月～3月37.1%、令和6年度4月～7月43.8%）

- (1) 医師への事前出欠確認
- (2) 欠席者への代理出席者指名依頼
- (3) 年3回診療科別医師出席率をフィードバック

3 医薬品等の安全使用体制の状況

【助言】術前休止薬剤の入院前スクリーニングに薬剤師が関与されていない。新規医薬品はもとより後発医薬品の増加や近年の医薬品供給不安定など、日々更新される医薬品情報から術前休止薬等のスクリーニングに薬剤師が対応するメリットは大きいと考えられ、術前クリニックの医師や看護師の負担も軽減できると考えます。入院時に術前休止薬を中止されずに入院された患者様が当日退院される事案があるということもあり、入院前に薬剤師が関与する配置が望ましいと考えます。

【対応】術前中止薬情報の一元化や患者説明用紙の印刷機能等を備えた術前中止薬テンプレートの試験運用を開始した。PFMを導入した入退院支援センターは今後の課題で、入院前の薬剤師関与を検討中。

4 高難度新規医療技術又は未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否等を決定する部門の運用状況

助言なし

5 監査委員会の業務の結果及び監査委員会からの指摘への対応状況

助言なし

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

- 1 「関西医科大学附属病院患者相談窓口運用規程」を定め、患者相談窓口の運用及び体制を確保している。
- 2 病院 HP に患者相談窓口のご案内として、場所、対応時間、相談内容を掲載している。
- 3 病院 2 階に「患者総合相談窓口」を設定し、病院 1 階に個室の相談室を設け、相談者が不利益を受けないよう配慮している。
- 4 病院 2 階の「患者総合相談窓口」には、病院 HP 掲載内容のほか、責任者名、相談対応職種を記載した看板を設置している。
- 5 相談内容によっては、インシデント報告対応事案となり、一部内容は医療安全管理対策委員会に報告し、委員会にて対応を検討する体制が確保されている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ・ 研修の内容（すべて）：
 - 1 「BLS 講習会」
 - 2 「急変時対応訓練」
 - 3 「災害医療研修会」

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

○2023 年度特定機能病院管理者研修 (2024 年 1 月 26 日)

【医療安全管理責任者】

【医薬品安全管理責任者】

○2023 年度特定機能病院管理者研修 (2024 年 1 月 15 日)

【医療機器安全管理責任者】

○2023 年度特定機能病院管理者研修 (2024 年 1 月 26 日)

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

○日本医療機能評価機構認定病院 令和5年4月6日認定

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

(日本医療機能評価機構ホームページにおける公開内容)

・ 評価を踏まえ講じた措置

・ 患者中心の医療の推進

患者が理解できるような説明を行い、同意を得ている

倫理・安全面などに配慮しながら、新たな診療・治療方法や技術を開発・導入している

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身ともに健全にして人格高潔である医師 2. 医療安全確保のために必要な資質、能力を有している者 3. 病院の管理運営のために必要な資質、能力を有している者 4. 関西医科大学附属病院における病院理念、基本方針、医療倫理指針を理解し、遂行することができる者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無) ・ 公表の方法 ホームページ

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有・無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有・無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有・無) ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無		
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 病院の運営方針に関する事 (2) 病院の経営管理に関する事 (3) 中期計画及び事業計画に関する事 (4) 医療機能に関する事 (5) 組織に関する事 (6) 人事に関する事 (7) 施設整備に関する事 (8) 予算及び決算に関する事 (9) 高難度新規医療技術の実施に関する事 (10) 未承認の医薬品等の使用に関する事 (11) 職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制の整備に関する事 (12) その他、病院の運営全般に関する事 ・審議の概要の従業者への周知状況 <ul style="list-style-type: none"> 毎月1回(毎月第4火曜日午後4時から)開催の附属病院部科長会に報告し了承を得たうえで、職員に周知しています。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無 (有・無) ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無 (有・無) 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
松田 公志	○	医師	病院長
谷川 昇		医師	副病院長
齋藤 貴徳		医師	副病院長
長沼 誠		医師	副病院長
藤原 宏司		事務	事務部長
島村 里香		看護師	看護部長
山口 伸也		部長	物流センター部長
森本 圭祐		事務	診療情報分析室部長
打谷 和記		薬剤師	薬剤部副部長
仲野 俊成		医師	医療情報部副部長
川江 寛信		事務	事務部次長
船原 宏通		事務	管理課長
塚本 雄大		事務	管理課長
越智 雅章		事務	医事課長
大西 良和		事務	用度課長
杉本 修平		事務	経理課長
岡田 一充		事務	地域医療連携部課長
手塚 ちひろ		事務	診療情報分析室課長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）

- ・ 公表の方法
- ・ 規程の主な内容

○病院管理者として必要な人事及び予算執行権限について規定している。

・規程の名称:附属病院組織分掌規則

・条文:第3条 病院長は、病院管理者として当該病院の管理運営を掌理し、これに必要な人事及び

予算執行権限を有する。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

○副病院長:医療安全に関すること

○副病院長:救急体制、手術運営に関すること

○副病院長:患者サービスに関すること

○事務部長:経営分析に関すること

○看護部長:看護に関すること

○薬剤部副部長:薬剤に関すること

○医療情報部副部長:医療情報に関すること

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

<看護部長>

・社団法人日本私立医科大学協会主催の看護部長会議

<薬剤部副部長>

・社団法人日本私立医科大学協会主催の薬剤部長会議

<事務部長>

・社団法人日本私立医科大学協会主催の事務部長会議

<医事課長>

・社団法人日本私立医科大学協会主催の医療事務研究会

<管理課長>

・社団法人日本私立医科大学協会主催の病院庶務研究会

なお、院内においては月1回経営会議を開催し、各科の診療成績や予算に対する収支状況について情報共有を行っている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 附属病院の医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理対策委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について管理者から報告</p> <p>(2) (1)の報告内容に関して是正措置を講ずる必要があるかどうかの意見収集</p> <p>(3) (1)、(2)の結果公表</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤本 良知	枚方市医師会 名誉会長	○	地域医療に関する 学識経験者	有・無	1
森田 眞照	市立ひらかた病院 顧問		病院機能に関する 学識経験者	有・無	1
永井 仁美	茨木保健所 所長		公衆衛生に関する 学識経験者	有・無	1
吉野 敬昌	枚方信用金庫 理事長		医療を受ける側の 代表者	有・無	2
谷川 昇	関西医科大学医学部 放射線科学講座教授		医療に関する 学識経験者	有・無	1
蔦 幸治	関西医科大学臨床病 理学講座教授		臨床病理に 関する学識経験者	有・無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

通常は年4回のテーマを決めた内部監査を行っています。また、内部通報窓口となっているため、管理者の業務に関する通報があれば、対応できる体制になっています。

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (有 ・)
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ・ 会議体の実施状況（年6回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年6回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ・ 無 ）
- ・ 通報件数（年4件）
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ・ 無 ）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ・ 無 ）
- ・ 周知の方法

○医療安全管理センター前に医療安全管理通報窓口受付箱を設置し、案内を常時掲示しています。

